

桜樹会会報

第43号



平成21年7月

日本大学桜樹会

「濱田靖一先生を偲ぶ会」

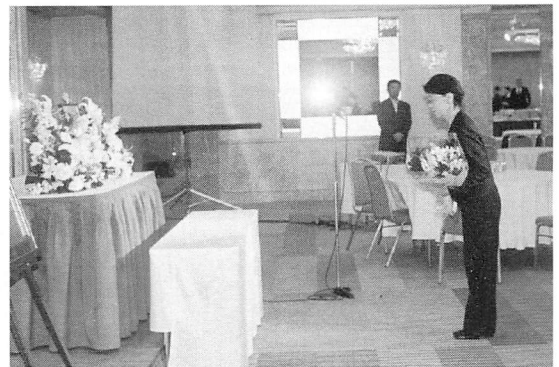
主催：濱田靖一先生を偲ぶ会世話人会

日時：平成 20 年 10 月 24 日 午後 6 時～

場所：ハイアット リージェンシー東京

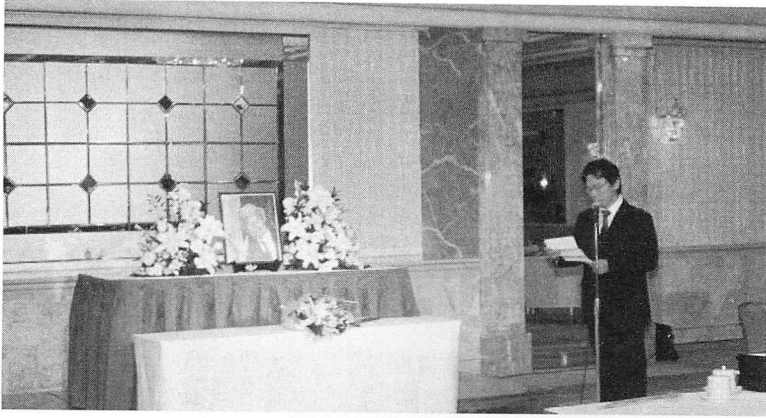
会費：10,000 円

(撮影 第 5 期 中島 元)



代表献花 春山文子

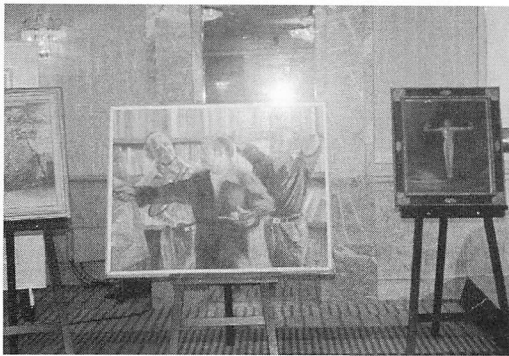




追悼の辞 五十嵐久人



懇談



「遠藤幸雄先生お別れの会」

主催：(財)日本体操協会

日時：平成21年5月24日 午後1時～3時

場所：グランドプリンスホテル赤坂 五色の間

(撮影：第14期 森田 博)

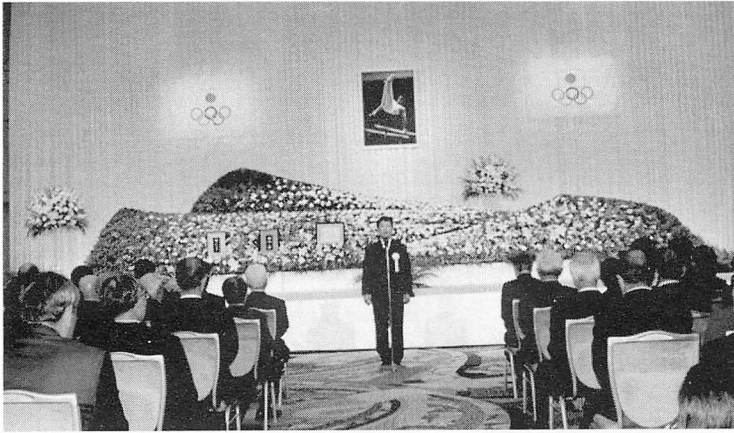


弔辞 早田卓次





献花



謝辞 遠藤幸一



メモリアルルーム

目 次

回想	顧問	門脇春男	1
お別れのことば	4期	早田卓次	5
濱田先生との思い出	10期	松本恭子	7
体操界の巨星	13期	徳永富夫	9
父・幸雄のことば	25期	遠藤幸一	11
「偲ぶ会」・「お別れの会」桜樹会関係出席者			13
子供の身体作りに必要な体操普及＝ハード面からの提言	9期	今村 悟	16
さいたまインターハイ桜樹会報告	36期	林 秀樹	20
平成20年度競技会成績			21
平成20年度役員会報告			33
平成20年度総会報告			34
平成20年度会費納入状況報告			42
会費納入のお願いと住所シールの見方			44
平成21年度桜樹会役員一覧			45
平成21年度体操部役員および部員			46
体操部の生活内容と環境	男子総務	野崎健太郎	48
平成21年度体操競技大会予定			49
会報の原稿募集について			50

回 想

顧 問 門 脇 春 男

まえがき

昨年秋から今年の春にかけて、私達の偉大な仲間であり、その道の先達ともいえる日本大学名誉教授の濱田靖一・遠藤幸雄のお二人の先生を喪うしないました。誠に残念の極みで痛惜の念を禁じ得ません。

このたび、「今度の桜樹会報に、両先生の思い出などを寄稿していただきませんか」と菊地会長から依頼がありましたので、お悔やみの気持ちとともに過ぎ去った日々を回想しながら一文をしたためました。

遠藤先生のご逝去を悼む

3月25日早朝、早田先生から遠藤幸雄さんの訃報の知らせを受けた。それは「親族による密葬を執り行い、後日改めて『お別れの会』の予定です」というものでした。

『体操の遠藤幸雄さんが平成21年3月25日午前4時16分、食道ガンのため東京駿河台日大病院で死去した。享年72歳』と都内各紙の夕刊やテレビ、ラジオのニュースで一斉に報じられました。2年余にわたる闘病の生活であったので、奥様はじめご家族の皆様は本当に辛い日々だったと思います。心からご冥福をお祈りいたします。

さて、私より6歳年下である遠藤幸雄さんとの出会いは、昭和27年8月23日(土)京都の同志社大学を会場とするインターハイのときにさかのぼります。前年度優勝が能代南高校(現能代高校)であったため、秋田からもう一校出場できることになり、秋田工業高校が参加したのです。

秋田市内にある久保田中学の2年生から始めた体操。そして、高校に入学して僅か4ヶ月目の遠藤君は、7人の新入部員(最終学年まで脱落者なし)のなかから選ばれて

個人参加できたとのことでした。

先輩として京都に行っていた私に、山方泰文教諭(旧制能代中学の体操選手で昭和12年神宮大会優勝)は、「朝早くて悪いが遠藤君の面倒をみてくれないか」と…。

朝8時競技開始、京都の夏は暑い。会場には7時前に入り、入念なウォーミングアップで体調を整え、会場の雰囲気慣れることにした。演技はつり輪から始まり順調に得点が出ていたが、5番目の徒手体操(現在のゆか)の演技は、うまくいったのに点が伸びなかった。そこで私は、主任審判にダメモトと思いつつ説明を求めたのだが、いま思えば、その主任審判が濱田靖一先生だったのです。

昭和34年、東京教育大学を卒業と同時に、日本大学文理学部体育助手として勤務し、併せて体操部コーチに就任。遠藤さんは選手としても安定した練習環境が整い、やがて国際舞台へ羽ばたくこととなりました。現役引退後は、監督や部長を経験し、指導者として数多くのオリンピック選手を育て、全日本学生選手権でも数年にわたり優勝させるなど、その功績はきわめて大きいものがありました。

遠藤幸雄さんのプロフィール

昭和 12 (1937) 年 1 月 18 日 生まれ

秋田市広表字谷内佐渡にて誕生

身長 161 cm 体重 58 kg

1960 オリンピック・ローマ 団体優勝・個人 5 位・鉄棒 4 位・跳馬 5 位

1964 オリンピック・東京 団体優勝・個人優勝・平行棒優勝・ゆか 3 位

1968 オリンピック・メキシコ 団体優勝・平行棒優勝

1962 世界選手権大会・プラハ (チェコスロバキア) 団体優勝

1966 世界選手権大会・ドルトムント (ドイツ) 団体優勝

1962～1965 全日本選手権大会 4 連勝

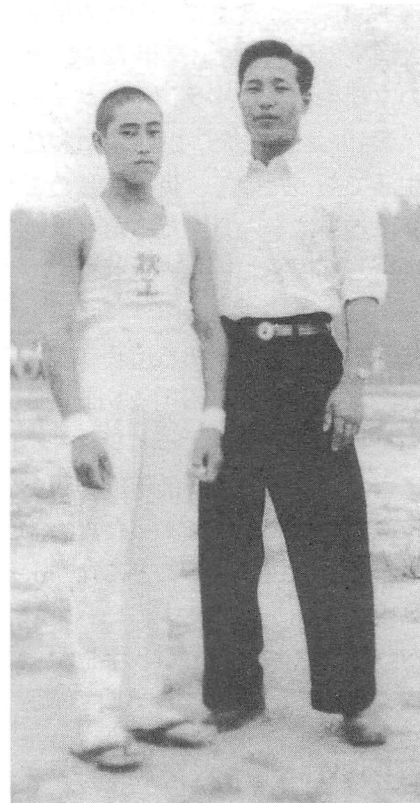
1974・1975・1977・1979 全日本学生選手権大会 日大男子団体優勝 (監督)

1995～2001 (財) 日本体操協会副会長

1999 紫綬褒章受章

2007 日本大学名誉教授

2008 旭日中綬章受章



昭和 27 年 8 月 京都にて

濱田先生を偲びつつ

昨年秋、9月16日の昼ごろ、私は久しぶりで横浜を訪ねていた。桜木町駅近くのランドマークタワーで昼食をと思っていたとき、早田先生から「9月12日に濱田先生が長野で亡くなられています…」との電話。一瞬、なぜ、どうして長野なのだろうと戸惑ってしまった。その後、10月24日（金）夕刻から、小雨降る新宿西口のハイアトリージェンシーホテルで、体育学科と桜樹会の有志により、和やかに和気あいあいと濱田先生のお人柄そのものの「偲ぶ会」がありました。

1. 不思議な出会い 昭和34年4月、日本大学文理学部教育学科体育専攻から、体育学科に独立すべき教員人事として、平野平三教授が当時の日本体育大学学長 栗本義彦氏に、新進気鋭の学者として評判の高かった濱田靖一先生の日大への移籍を懇請していました。その結果、助教授として日大に採用が決定したのです。ここで不思議な出会いがありました。この年、東京教育大学を卒業し順天堂大学に就職が内定していた遠藤幸雄君へ、私が「飯を喰うだけのことはするから、日大に来て僕の手助けをしてくれないか」と誘ったところ、体育助手として勤務することになり、奇しくも濱田先生と同期の就職となったのです。以来、濱田先生と遠藤先生は同じ研究室で30数年にわたり一緒に過ごすことになるのです。

2. 絵描きになりたかった 濱田先生は若いときから絵描きさんになりたくて、一生懸命デッサンの勉強や筋肉・関節・骨格

などの解剖学を勉強しておりました。先生は体操専門書が少なかった当時、イラスト入りの絵解き本を数多く出版されたので、体育教科に携わっている先生方には大いに重宝されました。（組体操、図解マット運動、中学・高校の文部省検定教科書など）

「偲ぶ会」の会場には、油絵の自画像が飾られていましたが、F80くらいのキャンバスの中に、ガウンを着て絵を描いている画伯姿の自分と描かれているもう一人の自分という構図は、如何にも濱田先生らしいと思いました。

3. 洒脱^{しゃだつ}な「体操忘れな草」 晩年になり、体育教育出版会から出版された「体操徒然草^{つれづれぐさ}Ⅰ～Ⅲ」は、自由奔放でシャイな文学的著書だと思います。

第1章～20章からなるエッセイ集で、作家・三島由紀夫、写真家・土門拳、映画監督・市川崑氏らとの出会いや卒業間際の学生への講義「酒の呑み方」などなど。

特に面白いのは、p59～の『…あるとき、一杯呑みながら、友人に「天国にも呑み屋はあるのだろうか」と聞いたら「お神酒^{みき}あがらぬ神はない」という言葉があるから心配しなくてもいいだろうと言ってくれた。例えば「バー 天国」とか「料亭^{はすの} 蓮乃屋」とか、立ち呑み屋「三途の川」などがあれば、資格があるかどうかわからないが死んだらやっぱり天国へ行きたいものである』の部分である。お酒の好きな濱田先生らしい描写で、この原稿が書かれたのは90歳のときでした。

4. マスゲームの指導者 毎年各地で開催される国体の開会式は勿論であったが、

特に圧巻だと思う話は、1958年、イランの首都テヘランで開催された第7回アジア大会での開会式のマスゲームを指導し、大会が成功裏に終了するころ、パーレビ国王(当時は君主制)からご褒美として石油1年分をプレゼントすると言われ困惑という話。何しろ、日本の中位の石油会社の扱う量に相当するわけだから、いくら先生が氣宇壮大な先生でもちょっと考えてしまう。

5. 体育学科での功績 何しろ、スポーツも体育もごっちゃに考えている人や、体育系と教員養成系との^{せめ}闘ぎ合いの多い時代であった。いわゆる体育学科の黎明期で濱田先生はその両立・融合を常に考えられて行動していました。総合大学としての日本大学を、如何にして体育専門系大学に伍するか、より独創的な学科にできるかに腐心されていました。

昭和37年 体育学科内での学術研究発表会発足・「桜門体育学研究」発行

昭和39年8月 第15回日本体育学会の開催

昭和47年 第1回実習体育祭ならびに創作ダンス発表会を実施

昭和53年 国立競技場で700名による人文字を発表

平成2年 千葉マリスタジアムでのオール日大体育祭で日大創立百周年のロゴマークを描いた旗(約40×60m)を200名余の学生が広げながらの進行

濱田靖一先生のプロフィール

大正3(1914)年7月10日生まれ

神奈川県厚木市にて誕生

1933 神奈川県立厚木中学卒業

1940 日本体育会体操学校高等師範科卒業

1941 厚生省体育官補

1946 文部省体育官補

1959 日本大学助教授

1962 日本大学教授

1970~1981 日本大学体操部部長

1985 日本大学名誉教授



あとがき

創部50年の体操部と創設50年の体育学科とともに歩んでこられたお二人の功績は大なるものがあります。心からご冥福をお祈りいたします。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる^{ためし}例なし。」と『方丈記』にある人生の無情を口にしながら、これからも精進しましょう。

<合掌 平成21.7.1.記>

お別れのことば

—遠藤先生お別れの会 弔辞から—

4期 早田卓次

遠藤先生、5月20日に正五位の勲章をお受けになり、おめでとうございます。昨年の秋の旭日中綬賞のお祝いも出来ないうちにお別れすることになり残念でなりません。

先生は沢山の仲間を集めて、ワイワイ、ガヤガヤと語り合うことがお好きでした。今日は、先生が特に親交を深められたオリンピック仲間のオリンピック、体育・スポーツでお世話になった先生方、大学関係者、また、先生の教え子たち、遠藤幸雄ファンが全国各地から大勢お見えになって会場に入りきれないほどです。

お元気で公式の場にお立ちになったのは、一昨年の秋田国体が最後となりました。昨年〇月、日本大学から名誉教授の称号が贈られ、市ヶ谷の日本大学本部へお一人で出席されたときには、誰もが元気に復帰されることを信じました。

昨年の夏に、再度入院され長い闘病生活を繰り返しておられましたが、ベッドでの話題はお孫さんのことばかりでした。あの嬉しそうに、楽しそうに話される姿からは間もなくお別れすることになるなど考えられないことでした。

結婚されて今年で48年を迎えられ、子供さん、お孫さんから赤いバラ48本を贈られたときは、嬉しそうないつもの笑顔でしたが、その頃、体力も消耗し始めていたのですね。

筆談もきつくなってきた時期、私がお

見舞いしたとき、「天命を覚悟している。延命治療が辛い」と書かれたノートを手渡され、私は大きなショックでしばらく言葉も出ませんでした。

体力的にも、精神的にも大変な体操競技で世界を極めた方が、何故病に倒れなければならないかと悔しくてなりません。

先生は竹本正男時代、小野喬時代を受け継いで体操ニッポンを築かれました。先生は小野喬選手がメルボルンオリンピック、ローマオリンピックで果たせなかった0.5の壁を破り、東京オリンピックでチャンピオンの座を勝ち取りました。あのシャープな演技に魅せられて体操を始めた若者は数限りなくいたことは間違いありません。

体操の命とも言われる雄大さ、正確さ、美しさの三大要素を備え、ローマ、東京、メキシコ、ミュンヘン、モントリオールのオリンピック5大会と、プラハ、ドルトムント、バルナ、リュブリアナ、ストラスブールの世界選手権5大会に、先生は選手、コーチ、役員としてすべて関係されました。この間、連続して世界制覇を果たし、当時、プロ野球の読売ジャイアンツのV9とともに体操ニッポンV10として高い評価を得ました。

先生は、体操の遠藤としてばかりではなく、人間的にも魅力のある方でした。体操の女王ベラ・チャフラフスカは大の遠藤ファンで、はじめは「エンド、エンド」と呼んでいましたが、いつの間にか「ユキオ、ユキオ」に変わり、私は先生をユキオなどと呼び捨てにすることに腹立たしく思ったこともありました。

性格は几帳面で、炭酸マグネシウムで白くなった練習着を洋服ブラシで丁寧に埃を取り、毎回きちんと畳んでしまっていました。マッサージを頼まれたときも、患部にすり込むサロメチールの長さを今日は2センチ5ミリ、今日は5センチと長さを決めてからマッサージをするほどでした。

先生とは長年大学の同じ研究室で過ごさせて頂きましたが、担当している授業に学生が欠席すると、自宅まで電話を掛けて欠席理由を問いただし、納得がいかないと怒鳴りつけることもしばしばでした。妥協を

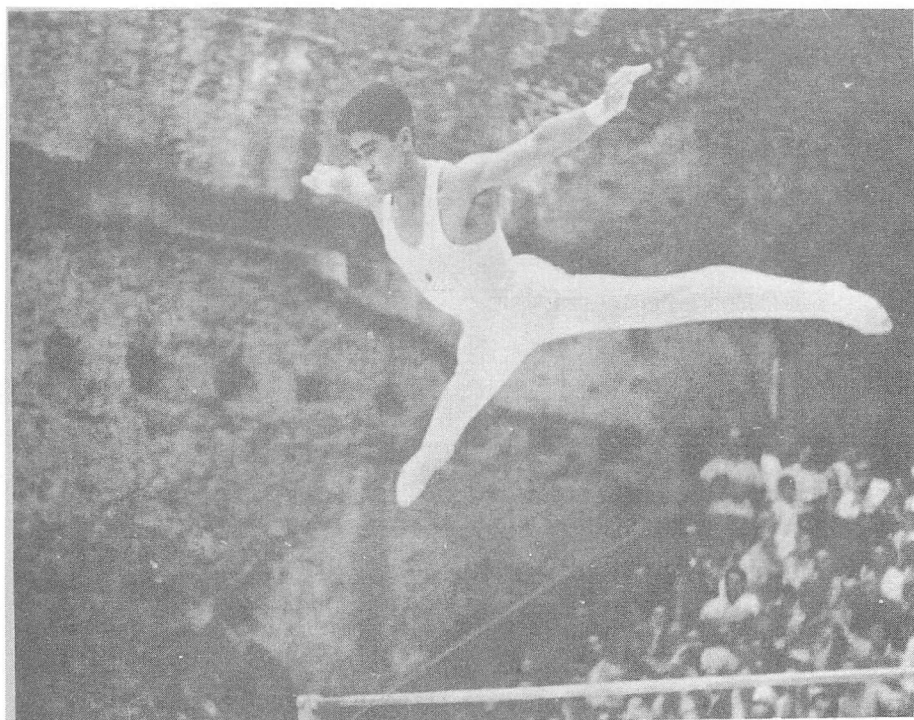
許さない先生の一面として、いま、とても懐かしく思い出されます。

いろいろとお話ししてきましたが、私にとって遠藤先生は偉大な人生の師でした。50年にわたって体操のことばかりではなく、多くのことを学ばせて頂きました。

お礼の言葉も言い尽くせるものではありませんが、心からの感謝を申し上げお別れの言葉と致します。

遠藤先生、さようなら…さようなら…。

合掌



1960 ローマオリンピック（桜樹会創立25周年記念誌より）

濱田先生との思い出

10期 松本 恭子

濱田先生が亡くなられてから9ヶ月が過ぎようとしています。そして今年3月には、遠藤先生も天国に旅立たれました。本当に寂しい気持ちで一杯です。

濱田先生には3年8ヶ月にわたり油絵を教えて頂きました。きっかけは4年前、「テレビの取材があるのだが手伝ってくれないか」という先生からの突然の電話でした。

取材の打ち合わせ等で先生のご自宅に伺ったことから、奥様を亡くされた後一人で生活されていることを知り、その後も時々お昼をご一緒しようとお邪魔するようになりました。

時折ご次男が見えて先生のお世話をされていましたが、そんな中でいろいろなお話をしているうちに、油絵の話になり「描きたいのなら道具は家に揃っているから一緒に描こう」と言われ、お言葉に甘えてすぐ弟子入りとなりました。

先生から言われたことは「絵は写真ではないのだから、自分の思うように思い切り自由に描きなさい」ということでした。

その言葉どおり先生の絵は筆に勢いがあり、伸びやかで大らかさを感じる作品ばかりでした。キャンバスの前に立たれ筆を持たれると、立ち姿が若々しくキリッとされとても素敵でした。

濱田先生の描かれたつり輪の十字懸垂の油絵は、早田先生が体操場に飾ってくださいました。器械体操を描いた油絵はこの作品だけだと思います。体操場に足を運ばれた時にはぜひ見て頂きたいと思います。

そんな先生とのお付き合いのなかで、先生のとてもお茶目でユーモア溢れる一面を知りました。庭に出たときにつまづいた振りをして、私が驚いて手を出すとうまく引っかけたと嬉しそうにニヤッとされます。また、先生は教え子の方たちに葉書を出すのが楽しみの一つなのですが、ある日私に、「いま、手を震わせて字を書いているんだが、これが結構むずかしくてね。一行書くとうまく震えなくなるんだなあ」と。

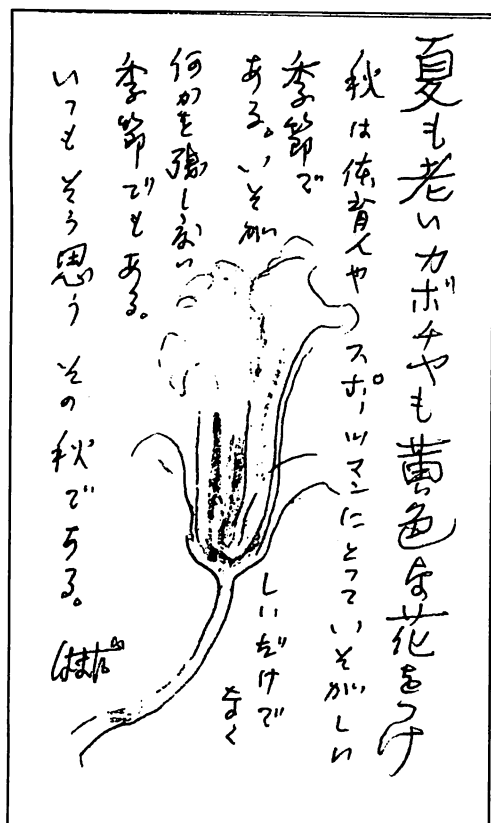
何のことかと思っていますと、葉書に書かれた震えた文字を見て、「濱ちゃんもいよいよ震え出したか」と受け取った方が反応するのを楽しみたかったようです。でも、この計画は震えが長続きせず、すぐボツとなりました。

葉書にさらさらと書かれた文章と絵、時には詩人であり、時には俳人であったと思います。雅号は二茶だったり、三茶だったり…。

- 梅雨あけず 生姜に味噌で 生ビール
- 空に星 地に生ビール 夏の宵
- グーと呑み がっぷり食べて 乗り切りませう この暑さ

季節は夏、やはり“先ずは一杯”がテーマでした。

先生が亡くなられた後、ご愛用の机の上に最後に書かれた葉書が残されていました。裏庭に伸びてきた一本のつるに咲いた黄色いカボチャの花が描かれ、メッセージが添えてありました。先生らしい本当に最後のメッセージになりました。そしてその花は「ちょっと遅いから実にはならないな」と話されていた花でした。



濱田先生が最後に書かれた葉書です。

“夏も古いカボチャも黄色な花をつけ”
 秋は体育人やスポーツマンにとって
 忙しい季節である。忙しいだけでなく
 何かを残したい季節でもある。
 いつもそう思う その秋である。

亡くなられる半年ほど前から時々体調をくずされ、8月末には暑かったこともあって脱水症状に見舞われ、この頃から急に体力が衰えていかれたような気がします。

9月に入り、12日にご長男がお住まいの長野に行かれ、その夕方、息子さんお二人と大好きなお寿司でお酒を飲み、いつも通りベッドに入られて、そのまま眠られように逝ってしまわれました。

悲しみの中にも、ご家族のもとで旅立たれたことが何よりだったと思います。先生がお一人のときに何かあったらと皆さんが心配していたことでしたから…。

先生の目標は100歳でした。いつもエネルギーギッシュで常に沢山のアイデアと計画をお持ちでした。“水体操”を完成させること、3回目の“濱ちゃん仲間展”を開くこと、100歳になるとき“100歳体操”を作ること、等々本当に体操を愛され体操とともに生きて来られた偉大な、超偉大な先生でした。

そして、いつも近くにいらした早田先生はじめ教え子の方たちが、それぞれの立場で濱田先生をサポートして来られました。多くの方々に支えられて先生はお幸せだったと思います。

私は、先生と思い出に残るとても良い時間を過ごさせて頂きました。絵を描いたあと、お寿司や焼肉をつまみながら、日本酒の熱燗、それもかなり熱めのお酒を少し大きめの徳利（実はお気に入りの一輪挿し）でお飲みになるのが常でした。そのような折に、いろいろなお話を伺い有意義なひと時を過ごしました。

いま先生は、長野のご長男のご実家近くにある公園墓地に眠っておられます。

『長野は良い所だ。南アルプスが見えて広々として…。一度お出でよ』という先生のお声が聞こえるような気がします。

このたびは、先生への感謝の気持ちとともに、先生と過ごした日々を懐かしく振り返らせて頂きました。天国でも、熱燗で“まずは一杯”と美味しいお酒を飲まれていることでしょう。

体操界の巨星

—徳永富夫回想録から抜粋—

13期 徳永富夫

濱田靖一先生のことである。先生とは米寿のお祝い以来お会いしていない。この「回想録」を書くに当たって、昔の記憶の確認のため数名の先輩や同期の方に電話を掛けたりした。その際「濱田先生はお元気でしょうか？」と聞いてみた。「もちろんだよ、まだまだお元気で執筆活動もされているよ」という返事だった。私は大変嬉しかった。

学生時代に先生の「保健体育教育法」などを受講したはずだが、内容はまったく思い出せない。成績証明書を見ると優を頂いている。先生は、きっと私の解答などよく見もせず甘い点をお付けになっていたのだろう。そんな出来の悪い学生だった私だけが一つだけ心に残っている講義がある。

ある講義の途中で、先生は板書する文字が解らなくなり我々に尋ねられた。「君たち、この文字が解る者はいないか？辞書を引いてくれ」。誰も答えられない。すると先生は「君たち、調べて来るから少し待ってくれ」と言うので教室を出ていかれたのだ。20分近くたってから、やっと先生が汗を拭き拭き戻って来られた。そして「君たち、解ったよ」と言い黒板に大きくある漢字を書かれた。そのときの先生の表情は宝物でも発見した少年のような笑顔だった。今ではその文字が何であったか思い出せないが、私の心に何故か深い感動として残っている。

高校の教師になってから、私はこの浜チヤン式授業を度々活用した。授業の途中で

板書する文字を忘れたとき生徒に尋ねる。

「誰かこの文字が解る者はいないか？辞書を引いてくれ」。今は便利である。電子辞書を生徒は持っている。表示されると「ズームを押せ」などと言って確認する。そして最後に「君たち、解らないことは恥ではない。しかし解ろうとしないことは恥である」などと自分の不勉強は棚に上げカッコ良く(?)授業を終えるのである。

先生を想い浮かべながら、筆休めに書棚から先生の古い著作を取り出し読み進めているうちに休めなくなってしまった。「最新図解器械体操第二集」である。昭和27年7月20日発行、定価370円とある。この年に先生は何歳だったのだろうかと計算してみた。先生は大正3年7月10日生まれであるから、このとき38歳なのである。本の表紙を開くと、冒頭に先生の文章(詩)が記され、4ページにわたって写真とその説明文がある。まず、詩と説明文の文字の中に新しい発見があった。「肉体」が「肉體」とあり、「体操」が「體操」と記してある。體が体が変わった理由も時期もわからないが、まさに肉體・體操がふさわしい表現のように思う。「骨を豊にする」なのである。この時代に「骨粗鬆症」なる病名があったのか、また先生がご存知であったかは今度お会いしたときにお尋ねしようと思う。

次に私が心引かれたのは、最後の「余録」の中の文章である。シュワルツマンの鉄棒の「開脚飛び越し下り」の写真との出会いと、その技を実際に見たときの先生の感動が記してある。先生の文章を引用する。

「今度のヘルシンキ大会でシュワルツマンご本尊の妙技に接することが出来たのは、

永年憧れていた恋人に逢えたような気がして感激で一杯だった。(中略) 鉄棒を弓の弦にした人間の矢である。・・・斜上方へ高く尾を引くように飛び出すのである。私は思わず拝んでしまった。そしてどうしたことか止めどなく涙がこぼれてきた。

私が早田先生の「開脚飛び越し下り」を初めて見たときの感動とは雲泥の差であるが、私にはシュワルツマンと早田先生が重なった。

先生のこの本は、現代の体操選手や指導者の方々にもぜひ一読をお勧めしたい。われわれ指導者が、また体操を志す者が忘れてはならない、失ってはならない大切なも

のが沢山詰まっているように思える。

最後に冒頭の先生の「詩」である。

ご承知のように、日本は昭和 20 年に終戦を迎えた。その後長く GHQ による日本統治が続き、先生がこの本を発行された昭和 27 年は日本がアメリカから独立国としての主権を回復した年である。正確に言えば、日本独立 4 月 28 日、先生の本の発行が 7 月 20 日なのである。

その時代の背景などを想像しつつ先生の詩を読むと、当時の先生の希望や夢、先生の体操に対する純粋な熱い思いが伝わってきて胸が一杯になる。

原文のままご紹介する。

鉄 棒

現実の大地に鋼鐵の双脚はゆるがず
希望の青空に白銀の一線を張る
これをこれ鐵棒という

友よ (誰でもよいのだ) 鐵棒にさがろう
そう軽く足先をのばして
混迷も虚脱も昨日の嵐がもっていつってしまった

友よ (誰でもよいのだ) 鐵棒にさがろう
大空をはしる虹の様に意氣と青春の弧を畫こう

鐵棒は
民族のよあけに若人がかざす肉體の旗
友よ (誰でもよいのだ) 鐵棒にさがろう

(はまだ)

(濱田先生の訃報に接し、先生への追憶と感謝を込めて回想録から抜粋しました。)

父・幸雄のことば

25期 遠藤幸一

「たくさん悪い奴がいるのに、いい人ほど先に逝くってというのは、世の中どうなっているのか…」

これは、父の恩師である秋田工業高校の小田原先生が亡くなった時、故・濱田靖一先生がおっしゃっていたことで、今も私の心に深く残っている言葉です。近年、ニュースを通じて人の死を何とも思わない倫理を無視した事件に触れる度に、濱田先生その言葉は私の胸を強く打ちます。

そして2009年3月25日、日大の学生が毎年旅立つその日、父は帰らぬ人となりました。濱田先生の言葉が頭の中をめぐり、寂しく切ない気持ちになることもあります。生前、日本大学桜樹会の皆さまが、常に父と親しく接していただいたことで、幸せな人生を全うできたと信じています。その皆さまのご厚誼に感謝申し上げながら、会報という紙面をお借りして、父の言葉をお伝えしたいと思います。

父の几帳面さと人への気配りはご承知かと思いますが、入院中も家族をはじめいろいろな人に気を配り、人の迷惑にならないように努めていました。身体の不調も本当に我慢できなくなるまで訴えなかったのも、人に迷惑をかけると感じての行動だったのかもしれない。父から幼少期のことを深く聞いたことがなかったので、実際のところはわかりませんが、やはり9歳で母を亡くし、父とも離れ離れになって福祉施設で生活してきたことが、父の思いやりある性格の土台になっていたように思います。

その父にとって初めての入院・闘病生活は肉体よりも精神的に厳しいものだったと思います。自力で立ち上がることができなくなり、おむつにしなければならなくなり…そのすべてが父のプライドを崩していったのではないのでしょうか。実際、父自身が「もういい」とあきらめを口にする時もありましたが、私たち家族は繰り返し「もつとわがままになっていい」と訴え続けました。

2008年12月3日。年内持たないかもしれないという主治医からの告知を受け、父に何をしてあげられるのか考えた時、病室では不平不満をこぼさず、みんな笑顔でいようということになりました。その頃から筆談に応じてくれるようになり、つらい時にはそれを伝えてくれるようになりました。帰り際、お猪口を口元に持っていく素振りで見舞客を見送ることもありました。主治医から止められているアイスクリームをこっそり食べ、満足そうな笑みを浮かべたこともありました。ただ、わがままというにはあまりにも質素な行動でした。

年明け、一時、回復の兆候も見られましたが、3月16日、容態が悪くなり、大部屋から個室へと移りました。そして3月18日に2度目の告知があり、厳しい状況になれば、一度つけたらはずせなくなる人工呼吸器を付けること、そして心停止した時には、肋骨がもろくなった父に心臓マッサージを施さないことを告げられました。

翌3月19日夜、人工呼吸器をつけていか当直の医師から緊急に連絡が入り、心を決めて承諾しました。父の意識は薄れ、時折顔をしかめるだけの状態になり、明け

がたになると容態が悪くなることから、朝6時には病院に向い、父の様子をいち早く聞きに行くようになりました。

そんな折、いつものように出かけようとすると妻が私を引き止め、話してくれました。

「実は19日にお墓参りをした後、私と実和（娘）が病室を訪ねた時、すごくにこやかな顔をして“ありがとう”と言ってくれたの。」

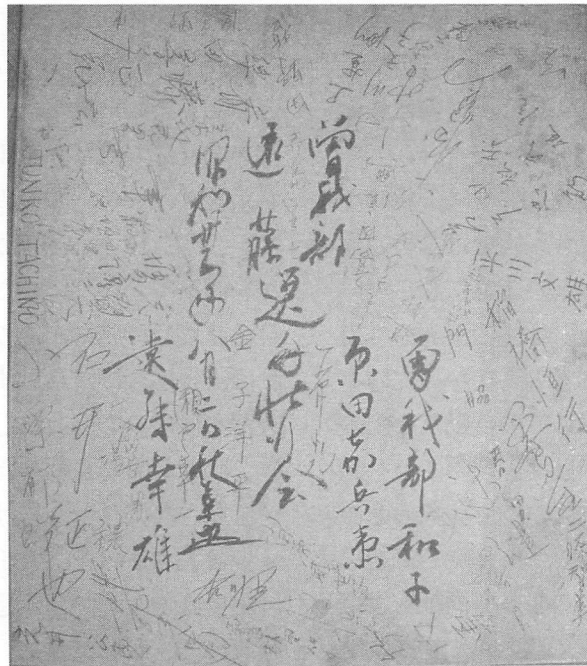
その瞬間、それが父の最期の言葉であることを察し、父のいる病室に着くまで涙が止まりませんでした。

父からは責任、正義、誠実など、数多くの倫理を学んできました。中でも、父が最も大切にしてきた「お世話になった人への感謝を忘れてはならない」という教えを、「ありがとう」という最期の言葉によって

しっかり伝えてくれたように思います。思いやりと感謝を忘れなかった父。これからも父の教えを胸に刻み、多くの方々へお伝えしていくことが私の使命であると感じています。

さて、秋田にも足を運び、ようやく身辺も落ち着いてきて、これまで父が寄稿してきた数々の原稿に目を通して見ると、そのひとつに、父の母、私にとっての祖母の最期の言葉が「ありがとう」であったことが記されていました。今、父のように感謝を忘れなかったその母に、60年ぶりに再会していると思うと、父にとってこれまでと違った幸せな時間を過ごしているようで心が和みます。皆さまへ、そして父に感謝申し上げます。父の言葉をお伝えいたします。ありがとうございました。

(7月5日記)



1960 ローマオリンピック壮行会寄せ書き

「偲ぶ会」・「お別れの会」桜樹会関係出席者

「濱田靖一先生を偲ぶ会」出席者（67名）

門脇春男	鶴見興人	高橋正典	谷田部光則	平田倫敏
勢能一男	佐藤 勲	相原和明	猪瀬宗子	加藤真理
石井征也	岩澤 稔	斎藤敬一	西野晴久	遠藤幸一
春山文子	海谷美代子	塚田和茂	北村弘文	小林 隆
川村竹子	岡本公子	宮原久美子	小玉幸子	長澤郁子
上野 剛	橋口泰武	五十嵐久人	錦井房美	西川大輔
小俣里知子	朝倉徳雄	森田 博	志村久子	君嶋孝之
早田卓次	近藤 明	木村邦博	西野良子	宮根 豊
菊地君男	渡部宣裕	木下咲夫	松井登美枝	宇野大樹
木村多喜	松本恭子	中川和昭	梶山広司	葛西玲広
小栗郁郎	菅野多賀子	久保光正	梶山節子	佐藤佑介
金子洋平	村松 一	青木昭文	安藤久美	
志賀正昌	森 昭雄	市毛美喜男	久保田一行	
中島 元	原 弘吉	山崎信恵	塚越美和子	

- ◆ この他に、体操部員 4 名、会員外 60 名（大学・付属高校体育関係者、体育学科・大学院卒業生、一般など）合計 131 名の方々が出席しました。



「遠藤幸雄先生お別れの会」参列者 (202名)

門脇春男	井上 靖	山崎雅昭	高橋知子	佐々木藤雄
門脇和子	常井晴道	森田 博	杉田智加子	渡辺光昭
勢能一男	吉田義則	木村邦博	境 保則	一之瀬安則
石井征也	近藤 明	木下咲夫	巻島 久	猪野木明美
吉川 晃	高波司雄	外山宜男	金居俊郎	大塚 宏
堀田淳二	門脇 隆	中川和昭	高橋三千子	小内格子
金子正史	渡部宣裕	久保光正	塚越美和子	高橋有理
春山文子	松本恭子	青木昭文	高橋和秀	岩崎朗子
田野 哲	菅野多賀子	住廣 晃	山田秀二	東島百合子
上野 剛	安藤泰行	山崎信恵	加藤博章	桜井一男
高田信興	水口始女	谷田部光則	原田一高	河西 裕
早田卓次	森 昭雄	猪瀬宗子	岡崎高典	水島宏一
菊地君男	原 弘吉	西野晴久	水島克己	野口愛子
木村多喜	綱島路正	寺元良人	松永二郎	小林小百合
山中勝男	松尾道子	柄沢康弘	岩井高志	高橋良明
波多野伸	高橋正典	椎名 厚	遠藤孝之	小林 隆
小栗郁郎	山本好隆	北村弘文	遠藤みのり	水島さだ子
鶴見興人	工藤昌二	錦井利臣	針替信之	平井良幸
真島孝礼	有元 脩	錦井房美	矢木幹男	川口雅志
高田佳子	相原和明	志村久子	平田倫敏	長澤郁子
佐藤 勲	島崎康行	西巻洋一	藤平裕二	佐藤 徹
砂野泰男	鈴木光雄	佐々木敏子	吉田清一	田澤千晶
岩澤 稔	朝倉康雄	西野良子	藤井幸信	佐藤寿治
和田 勝	鴨下哲夫	松井登美枝	櫛野智恵美	宮崎真由美
海谷美代子	斎藤敬一	梶山広司	早瀬幸博	豊田麻規子
小笠原光子	中谷秀明	梶山節子	峯田孝幸	川崎聖子
岡本公子	宮原久美子	佐藤之俊	峯田知加子	石井千絵
林 昌幸	小笠原祥子	小貫孝春	畑みちる	林 克彦
近藤盛一	徳永富夫	小貫恵津子	小坂井一弘	西川大輔
橋口泰武	中村栄喜	内田民雄	高橋千春	森泉貴博
船木政明	菅野秀俊	橋口幸弘	田嶋しのぶ	宮根 豊

増田宏正	高橋勇騎	利根彩恵	増子靖和
林 秀樹	吉岡彩子	岡崎恵美	田中和仁
伊藤佳代子	石丸悠佳	上川みゆき	飯嶋正志
関根 功	太田 崇	武井啓子	金田一道
梅田陽子	葛西玲広	森 光大	井上春香
清水智子	津久井みずき	森 智子	篠原綾乃
染谷忠勝	半藤京子	吉田秀登	半谷有里
葛城雅恵	佐藤佑介	伊藤 昇	
亀井信人	日向小百合	沖中一仁	坂下敏博 (部員)
佐藤弘典	古市正樹	内田友幸	早川昂佑 (部員)
後藤靖治	能勢龍二	西峯賢二	柏崎千友紀 (部員)
秋田葉子	野村俊介	関圭一朗	松本理沙 (部員)

◆「お別れの会」セレモニー終了後、同ホテル・グリーンホールに「桜樹会有志懇談会」の場が設けられ、155名の方々が集まり遠藤先生を偲び語らいの時間を過ごしました。



子供の身体作りに必要な体操普及＝ハード面からの提言
—教師や生徒・子供に優しい体操器具・施設づくりを！—

9期 今村 悟

<はじめに>

小学校や中学校における体操・器械運動の授業が皆無に等しい中、「体操」という言葉は、文部科学省の学校体育からなくなり、「からだづくり」という言葉で表現されるようになった。また、子供たちの体力低下や、柔軟性の欠如が深刻さを増し、日本の未来が心配されてきたのが今日の現状である。

私は、週1回Bスポーツ大学で「体操・器械運動」を担当し講義している。この科目は1年生必修科目として、スポーツを学ぶ学生に重要な位置づけをしている。

昨年2008年度受講者数242人中、再試を受験した学生は18名で、最終的には8人名が不合格となった。不合格となった原因は、鉄棒の逆上がりができないからである。け上がりではなく、逆上がりがスポーツを専門に学ぶ学生ができないのである。

多くの学生に聞くと、小学校で数回しか体操授業が行われた記憶しかなく、中学校ではほとんど体操授業を行っていないと証言した。

このような日本の学校体操の現状を、把握し分析してみると、そこには次のような原因があると考えられる。

- 1) 小さい時から専門競技種目ばかりを行ってきた弊害により、専門種目独特の身体作りでバランスを欠いた成長が見られる。
- 2) 体操授業での事故が多発し、教師の指導方

法や、管理が不十分として訴訟問題に発展しているケース。

- 3) 授業を行う上で、体操器具の出し入れ・設置・片付けが非常に負担。

このような状況で、次第に体操授業を敬遠する環境が生まれたと推定できる。

以上の要因から、今回は3)の問題を分析し、次のような提言をする次第である。

<日本の器具・施設の問題点>

「授業を行う上で、体操器具の出し入れ・設置・片付けが非常に負担」ということは、次のことを意味している。

日本の体育館・体操器具には次のような問題を抱えている。

- ① 器具庫やドアが狭く出し入れが大変不便
- ② 器具が非常に重く、子供たちではなかなか設置が困難
- ③ 不衛生

使いにくい器具、工夫されていない器具、移動しにくい器具、重たい器具、滑る器具、設置に時間がかかる器具等、先生や生徒に「優しくない」のである。

これでは「楽しくない体操」が進行してしまい、狭い器具庫に山積みされた体操器具(跳箱、踏み切り板、マット等)をみると、体操が忘れられ、ますます放置されていくのではと危惧する次第である。

その点、私が長年滞在したドイツの器具は

非常に合理的にできており、日本の器具と比較してもらえば一目瞭然である。

なんと現在、ドイツ体操連盟(DTB)には 500 万人の登録会員が存在する。ヤーンの体操が今なお引き継がれ、体操が地域に根付いた一つの文化としてドイツ社会を支えている。

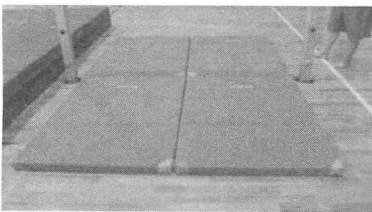
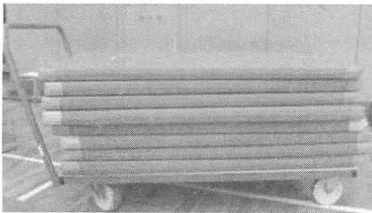
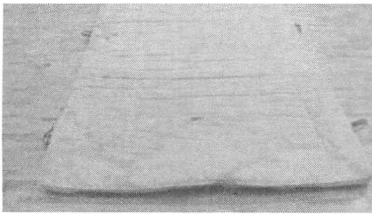
何故、ドイツでは今も多くの人達が体操に興味を持ち続けているのだろうかと考えたとき、器具や施設の存在も一つの要因ではないかと思われる。

B スポーツ大学では、すべての体操器具がドイツ製であり、使いよさ、丈夫さ、安全性、移動性、衛生面等、日本の器具では考えられない発想がある。

今回の会報に、ドイツ器具と日本の器具を比較していただくために一部紹介する。

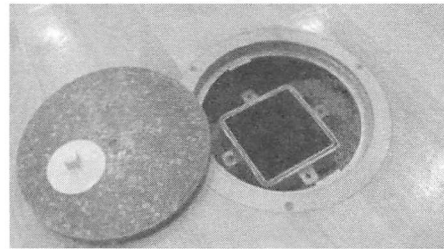
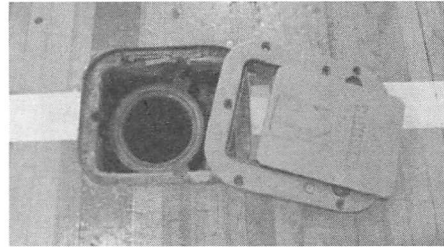
<ドイツの器具>

○マット比較



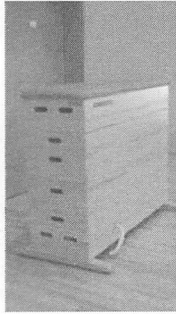
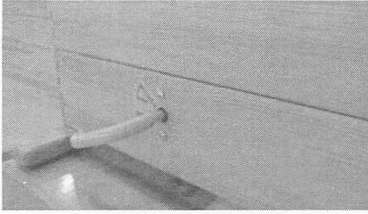
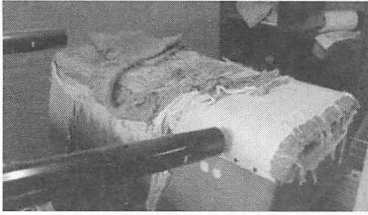
日本のマットは布製でできており非常に重いし、段差がつきやすく危険であり、継ぎ目を縄等で縛っているが、ドイツをはじめヨーロッパは軽いウレタン素材で、しかも小さく継ぎ合わせていくのでどんな形状も可能で、滑らない素材を使用している。軽く小さいので、移動持ち運びが大変簡単である。

○フロア比較



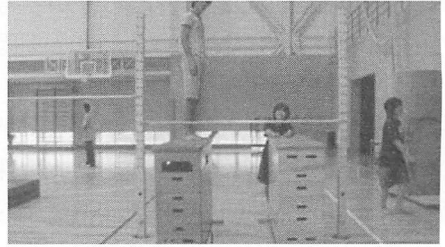
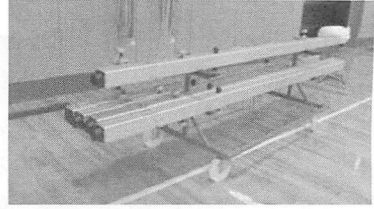
フロア一面での比較では、安全性に問題が日本製にある。日本のフロア一面で採用されているのが、蓋をずらして中に入れるタイプであるが、鋳物等でできているため簡単に破損し、蓋が衝撃で開くことがある。バスケットボールのジャンプや、バレーボールのジャンプや滑ってボールを拾う競技には大怪我の発生する危険性がある。ちょっと古くなった体育館の蓋をみると、ガムテープ等を貼っている光景をよく目にする。その点ドイツ製は、蓋が開かないように硬い樹脂ででき、子供たちが開けないよう配慮し、吸盤でしか開けることができない。ジャンプ等衝撃を与えても絶対開かない。

○跳箱比較



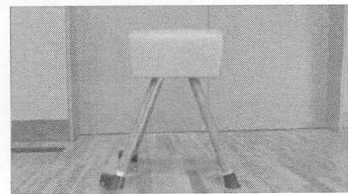
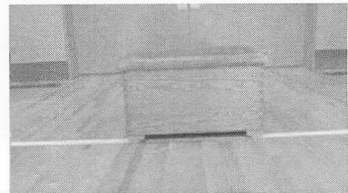
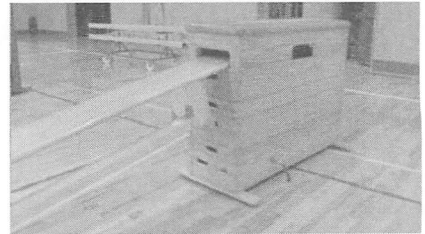
日本の跳箱は、なんとと言ってもピラミッド式の形状をしており、安定性は抜群である。しかし、高さを変化させるとき一番下を調整するため、全部跳箱を移動して下に継ぎ足したり、下を抜いたりする。その労力は先生や生徒にとって大変な負担である。そのため、多くの跳箱が使われなくなり、写真のような光景が発生する。ドイツ製はなんとといってもその形に特徴があり、すべて同じ幅なため容易に高低差が可能となる。また、滑車がついていて移動は子供たちでも簡単にできる。横についている金具を下に抑えると滑車が移動し、上に上げると固定される仕組みで、金具は当然取り外し可能である。

○鉄棒比較



鉄棒はアルミ製でできており、軽くて移動が楽で室内に埋め込み穴に差込み、高さ調整が簡単で、ねじがついているので支柱を固定することができる。高鉄棒と変わらない反発力がある。日本の校庭にある低鉄棒はバネがないため非常に難しい。

○その他の器具



その他の器具においても工夫が見られる。ベンチやミニ跳箱、ミニ跳馬等、体操競技だけの器具でなく、学校体育や地域のスポーツクラブの体操・器械運動用として普及している。

<おわりに>

使いにくい器具、工夫されていない器具、移動しにくい器具、重たい器具、滑る器具、設置に時間がかかる器具等、工夫のない体育館、狭い器具庫、危険性の高い床等、日本の体操器具と施設の現状をしっかりと把握し、ハード面からのアプローチも将来の体操を復権させる要因となり、先生や生徒に優しい器具が必要であると考えます。

体操による子供の身体作りは、この先欠かせないのである。

バランスの良い身体作りには、学校体育の中での体操授業の復活が大きな鍵を握る。そのためには、教師や生徒に優しい器具・施設の普及が絶対条件である。

優しい器具・施設とは

- ① 器具庫が広く、出入口が大きく開放できること。
- ② 生徒や先生に負担がかからないよう、移動や組み立てが簡単で軽量であること。
- ③ 安全であること。

優しい器具・施設実現のためには、日本の実情に合った器具や施設を、器具メーカー、建築家や体操関係者が一体となって「体操しやすい、やさしい器具・施設」の開発・研究に取り組みが必要でないのだろうか。

体操復権の一つとして、ソフト面からだけでなく、ハード面からもアピールすることを提案するものである。

<*註 この文章は、2008年9月日本体操学会で発表した原稿を元に加筆した。>

さいたまインターハイ桜樹会報告

36期 林 秀樹

8月6日(水)から8月8日(金)までの3日間、熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館にて、さいたまインターハイが開催され、日大出身の諸先輩方が監督、審判、役員と多数参加された。桜樹会は規定1日目の夜遅い時間帯にもかかわらず、早田先生をはじめ、遠方から多数参加して頂き、予定数を上回る36名の出席となった。現在、埼玉県出身で体操に携わ

っている方が少なく、若手の43期卒の葛西さんや19期卒の高橋先生のご協力によって会が進行された。毎回恒例の近況報告と最後に校歌を熱唱し、写真撮影をして大盛り上がりの中で会は終了した。終わりに、平成15年の埼玉国体に続いてインターハイ開催ということで地元関係者をはじめとして大勢の方々のご協力によって無事に終了することができました。心より感謝するとともに来年の近畿インターハイでの皆様のご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。(7月5日記)



日時 平成20年8月6日(水) 19:00~22:00

場所 「のみくい処 魚民」

平成20年度 競技会成績

第29回オリンピック競技大会体操競技第2次選考会

(東京・代々木第一体育館 4月12～13日)

男子

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日目/2日目	合計
1	内村 航平	日本体育大学	15.800	14.100	14.650	16.100	14.950	14.900	90.500	182.500
			16.000	13.900	14.950	16.200	15.400	15.550	92.000	
2	富田 洋之	セントラルスポーツ	13.450	14.600	15.700	15.350	15.350	15.600	90.050	182.000
			14.600	14.900	15.450	15.700	15.450	15.850	91.950	
3	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	14.700	13.150	14.800	15.250	15.700	15.400	89.000	180.050
			14.800	14.350	14.900	15.500	15.800	15.700	91.050	
4	鹿島 丈博	セントラルスポーツ	14.800	15.350	13.200	15.600	15.450	14.750	89.150	179.050
			15.050	15.150	14.000	15.400	15.650	14.650	89.900	
5	村田 憲亮	セントラルスポーツ	14.900	14.200	14.000	15.750	15.600	14.450	88.900	179.000
			14.700	14.350	14.100	16.000	16.000	14.950	90.100	
6	桑原 俊	徳洲会体操クラブ	14.250	13.400	14.400	15.400	15.600	15.250	88.300	178.400
			14.800	14.250	14.550	15.450	15.600	15.450	90.100	
7	塚原 直也	朝日生命	14.200	14.250	15.000	15.400	15.300	14.600	88.750	178.250
			14.650	14.400	14.800	15.400	15.500	14.750	89.500	
8	坂本 功貴	順天堂大学	15.000	14.900	14.650	15.800	12.500	14.450	87.300	178.100
			15.000	14.900	14.750	16.000	15.400	14.750	90.800	
20	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	14.550	13.750	13.950	15.800	14.400	14.450	86.900	174.250
30	小泉 和照	日本大学	14.900	13.700	13.600	15.800	14.500	14.850	87.350	170.600
			13.850	13.650	13.250	15.200	14.350	14.900	85.200	
32	古賀 裕将	日本大学	13.900	13.600	13.500	15.250	14.300	14.850	85.400	170.600
			14.400	13.050	13.100	15.350	13.750	14.500	84.150	
			13.950	12.800	13.200	15.200	13.800	14.250	83.200	167.350

女子

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日目/2日目	合計
1	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.450	14.800	15.450	14.750	59.450	116.900
			14.450	14.800	14.600	13.600	57.450	87.350
2	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.800	14.600	15.300	13.750	57.450	116.800
			13.950	15.200	15.800	14.400	59.350	88.450
3	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.550	14.500	15.400	14.550	58.000	116.350
			13.550	14.800	15.650	14.350	58.350	88.000
4	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	13.600	14.500	14.700	14.700	57.500	115.450
			14.350	14.850	13.950	14.800	57.950	87.950
5	山岸 舞	戸田市スポーツセンター	14.500	13.350	15.500	14.150	57.500	114.900
			14.500	14.450	14.450	14.000	57.400	87.500
6	新竹 優子	羽衣学園高等学校	14.400	14.650	14.900	13.850	57.800	114.500
			14.300	13.700	14.800	13.900	56.700	87.800
7	黒田 真由	中京大学	13.050	14.950	15.200	13.650	56.850	114.400
			13.100	15.700	15.150	13.600	57.550	87.550
8	棕本 啓子	大阪体育大学大学院	14.650	14.400	14.200	13.400	56.650	113.250
			14.500	14.700	14.550	12.850	56.600	87.650

第47回NHK杯兼第29回オリンピック競技大会体操競技日本代表決定競技会

(岡山・桃太郎アリーナ 5月5～6日)

男子

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日目/2日目	持ち点/合計
1	富田 洋之	セントラルスポーツ	14.050	15.100	15.900	15.050	15.850	15.500	91.450	(91.000)
			15.000	14.750	15.550	15.600	15.500	15.550	91.950	274.400
2	内村 航平	日本体育大学	15.650	13.850	14.600	16.100	14.900	14.800	89.900	(91.250)
			15.900	13.950	14.750	16.050	15.300	14.600	90.550	271.700
3	坂本 功貴	順天堂大学	14.500	14.600	14.700	15.950	15.300	14.300	89.350	(89.050)
			14.600	15.000	14.900	16.000	15.450	14.700	90.650	269.050
4	中瀬 卓也	徳洲会体操クラブ	15.350	13.850	15.050	16.100	14.450	15.300	90.100	(87.875)
			15.100	14.100	15.250	15.950	14.950	15.150	90.500	268.475
5	村田 憲亮	セントラルスポーツ	14.750	14.050	14.200	15.300	15.050	15.000	88.350	(89.500)
			15.250	14.350	14.350	15.650	15.800	15.150	90.550	268.400
6	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	14.250	14.400	14.700	15.300	15.600	13.750	88.000	(90.025)
			13.550	14.750	14.750	15.600	15.900	15.300	89.850	267.875
7	塚原 直也	朝日生命	14.150	14.400	15.250	15.600	15.250	14.100	88.750	(89.125)
			14.400	14.550	15.250	15.650	15.350	14.400	89.600	267.475
8	米田 功	徳洲会体操クラブ	14.700	13.700	13.650	15.950	15.000	15.600	88.600	(88.650)
			15.650	13.700	13.850	16.050	15.150	15.800	90.200	267.450
9	鹿島 文博	セントラルスポーツ	14.250	15.950	14.100	15.750	15.550	14.900	90.500	(89.525)
			15.000	15.400	14.100	15.350	15.150	12.200	87.200	267.225
10	沖口 誠	KONAMI	15.900	14.000	14.700	16.200	14.600	14.450	89.850	(87.400)
			15.900	13.950	14.700	15.750	14.950	14.400	89.650	266.900

o: オリンピック競技大会代表

女子

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日目/2日目	持ち点/合計
1	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	14.600	14.750	15.000	15.000	59.350	(57.725)
			14.400	14.700	15.050	15.100	59.250	176.325
2	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.600	13.550	15.250	14.750	58.150	(58.450)
			14.550	14.800	15.100	14.650	59.100	175.700
3	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.550	15.000	15.650	14.700	58.900	(58.175)
			13.550	14.500	14.700	14.650	57.400	174.475
4	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.700	14.400	15.650	14.300	58.050	(58.400)
			13.900	14.550	14.550	14.500	57.500	173.950
5	新竹 優子	羽衣学園高等学校	14.350	14.550	15.300	13.850	58.050	(57.250)
			14.400	14.600	15.400	14.100	58.500	173.800
6	黒田 真由	中京大学	13.050	15.600	15.250	13.600	57.550	(57.200)
			13.000	15.600	15.400	12.850	56.850	171.600
7	小沢 茂々子	戸田市スポーツセンター	15.050	13.200	14.850	14.200	57.300	(55.950)
			15.000	12.900	14.750	14.050	56.700	169.950
8	田中 理恵	日本体育大学	14.350	13.700	14.400	13.850	56.300	(56.225)
			13.800	13.550	13.450	13.700	54.500	167.025
9	タノ 絵里香	ドリーム体操クラブ	15.350	13.100	13.300	13.600	55.350	(55.550)
			15.400	13.000	14.100	13.600	56.100	167.000
10	高堰 雪梅	サンフットスポーツクラブ	13.550	14.000	15.300	13.650	56.500	(55.100)
			13.550	14.200	13.350	14.000	55.100	166.700

o: オリンピック競技大会代表

第42回東日本学生選手権大会

(栃木・栃木県体育館 5月17日～18日)

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	順天堂大学	73.450	69.950	71.650	78.050	75.450	70.750	439.300
2	日本体育大学	71.800	68.300	71.850	76.750	72.350	69.500	430.550
3	仙台大学	73.500	66.750	70.750	77.600	70.650	67.850	427.100
4	日本大学	71.200	66.800	67.600	75.200	71.850	69.350	422.000

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	4	坂本 功貴	順天堂大学	15.150	15.250	15.050	16.000	15.450	14.100	91.000
2	3	渡辺 恭一	順天堂大学	14.950	14.150	14.050	15.250	15.350	14.750	88.500
3	4	植松 鑑治	仙台大学	15.200	14.250	14.450	15.250	14.700	14.600	88.450
7	3	古賀 裕将	日本大学	14.600	13.100	14.100	15.600	14.200	14.400	86.000
11	3	山本 翔一	日本大学	14.000	14.150	13.350	15.000	14.600	14.100	85.200
16	1	小泉 和照	日本大学	14.450	13.900	13.350	15.300	14.450	13.300	84.750
25	4	沖中 一仁	日本大学	13.800	13.100	13.450	14.500	14.500	13.800	83.150
34	2	武内 祐樹	日本大学	14.100	11.950	13.350	14.700	13.700	13.400	81.200
37	4	岡井 翔吾	日本大学	14.050	12.550	12.050	14.600	14.100	13.650	81.000
59	3	後藤 俊介	日本大学	12.900	10.600	13.300	15.000	12.600	13.300	77.700
63	2	田中 宏樹	日本大学	13.550	11.500	12.450	13.750	13.000	12.750	77.000

女子団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	68.800	67.550	65.350	68.750	270.450
2	筑波大学	65.450	59.550	64.350	62.850	252.200
3	国士館大学	63.000	53.950	60.000	59.250	236.200
8	日本大学	60.600	54.750	56.350	55.250	226.950

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	3	田中 理恵	日本体育大学	14.000	14.600	14.300	14.350	57.250
2	4	石坂 真奈美	国士館大学	13.850	14.100	14.500	13.400	55.850
3	2	岡部 紗季子	明治大学	14.000	13.300	13.500	14.100	54.900
17	4	井上 春香	日本大学	12.700	10.500	13.500	12.700	49.400
31	4	斉藤 あゆみ	日本大学	11.950	11.600	12.050	11.750	47.350
49	4	青木 麻智子	日本大学	12.150	11.050	10.900	10.250	44.350
68	1	綿崎 美奈	日本大学	11.950	7.800	10.900	11.150	41.800
70	4	半谷 有里	日本大学	10.800	10.600	11.900	8.300	41.600
74	3	鎌田 優	日本大学	12.050	11.000	7.750	9.800	40.600
75	1	泉 葉月	日本大学	11.750	9.550	8.000	10.750	40.050

第62回全日本学生選手権大会

(埼玉・くまがやドーム 8月31日～9月1日)

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	順天堂大学	74.250	67.750	73.550	78.600	75.300	72.550	442.000
2	日本体育大学	74.500	67.150	74.100	78.750	74.800	72.200	441.500
3	仙台大学	72.650	68.050	71.550	78.300	72.050	68.050	430.650
4	日本大学	71.550	69.300	69.150	77.300	71.750	69.950	429.000

男子団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	2	内村 航平	日本体育大学	15.450	13.950	15.150	16.200	15.800	15.200	91.750
2	4	坂本 功貴	順天堂大学	14.800	14.900	15.500	16.100	14.700	14.700	90.700
3	4	新島 卓矢	順天堂大学	15.100	13.300	14.150	15.550	15.400	15.150	88.650
12	3	山本 翔一	日本大学	14.150	14.200	13.550	15.400	14.850	14.200	86.350
13	3	古賀 裕将	日本大学	14.500	13.650	14.800	15.500	13.900	13.850	86.200
14	1	小泉 和照	日本大学	14.950	13.850	14.000	15.400	14.300	13.500	86.000
22	4	沖中 一仁	日本大学	14.200	13.750	12.650	15.500	14.550	14.150	84.800
30	4	川野 貢太	日本大学	13.750	13.500	13.450	15.500	14.150	13.400	83.750
42	4	加藤 恭也	日本大学	12.150	12.900	14.050	14.750	14.100	14.550	82.500
44	1	八石 翔	日本大学	14.100	13.500	13.100	15.100	13.300	13.200	82.300
50	4	飯島 正志	日本大学	13.600	11.400	14.550	14.950	13.800	13.400	81.700
52	4	岡井 翔吾	日本大学	12.100	13.850	13.350	14.500	13.450	14.250	81.500
59	3	後藤 俊介	日本大学	13.600	12.900	13.050	15.250	13.150	13.100	81.050
66	1	鈴木 純	日本大学	12.400	13.600	12.900	14.350	13.900	13.300	80.450

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	4	植松 颯治	仙台大学	15.100	13.900	14.550	15.600	15.300	15.900	90.350
2	2	内村 航平	日本体育大学	15.350	12.900	15.100	16.050	15.600	15.100	90.100
3	4	新島 卓矢	順天堂大学	14.900	14.100	14.500	15.300	14.750	15.150	88.700
8	1	小泉 和照	日本大学	14.300	13.800	13.900	15.350	14.750	14.950	87.050
17	4	沖中 一仁	日本大学	14.350	12.800	13.650	15.300	15.000	13.950	85.050
18	3	山本 翔一	日本大学	14.300	13.850	13.050	15.350	14.850	13.500	84.900
36	4	川野 貢太	日本大学	13.650	10.400	13.200	14.500	13.200	13.350	78.300

女子1部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	69.450	67.450	68.950	67.500	273.350
2	国士館大学	65.900	65.550	64.200	61.300	256.950
3	筑波大学	67.900	63.900	59.950	63.000	254.750

女子1部団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	2	黒田 真由	中京大学	12.900	15.400	15.350	13.350	57.000
2	4	石坂 真奈美	国士館大学	13.900	14.400	13.000	14.050	55.350
3	3	垣谷 真理子	日本体育大学	13.600	13.850	14.000	13.600	55.050

女子1部個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	平行棒
1	4	石坂 真奈美	国士館大学	14.050	14.400	15.250	14.300	58.000
2	3	田中 理恵	日本体育大学	13.900	14.350	14.900	14.300	57.450
3	2	黒田 真由	中京大学	12.750	15.600	14.500	13.700	56.550

女子2部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	東海大学	62.400	59.750	60.600	59.250	242.000
2	日本大学	63.950	52.150	60.900	59.450	236.450
3	福岡大学	63.250	50.800	54.700	56.400	225.150

女子2部団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	2	古川 晶子	順天堂大学	14.600	12.800	12.750	13.700	53.850
2	2	岡部 紗季子	明治大学	13.700	14.000	12.700	13.100	53.500
3	1	伊波 瑞紀	東海大学	12.750	12.350	13.050	12.150	50.300
5	4	井上 春香	日本大学	13.400	10.300	13.750	12.600	50.050
9	4	篠原 綾乃	日本大学	13.750	9.900	12.500	12.000	48.150
11	4	齋藤 あゆみ	日本大学	12.700	11.350	11.900	11.850	47.800
25	3	鎌田 優	日本大学	11.850	10.900	10.850	11.000	44.600
27	1	泉 葉月	日本大学	12.100	9.250	11.700	11.450	44.500
29	4	青木 麻智子	日本大学	12.000	9.700	11.050	11.550	44.300
36	2	松本 理沙	日本大学	11.700	10.600	8.900	10.950	42.150

女子2部個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	2	岡部 紗季子	明治大学	13.650	13.950	13.600	13.650	54.850
2	2	古川 晶子	順天堂大学	14.600	12.450	13.250	13.300	53.600
3	2	早坂 有衣子	東海大学	11.900	12.950	12.150	13.000	50.000
8	4	井上 春香	日本大学	13.150	6 11.250	12.550	3 11.500	48.450
23	4	齋藤 あゆみ	日本大学	11.650	8.600	12.400	5 11.150	43.800

全日本社会人体操競技選手権大会

(福井・鯖江市総合体育館 9月13日～15日)

男子団体総合1部

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	徳洲会体操クラブ	74.750	72.050	76.200	79.300	76.450	76.250	455.000
2	KONAMI	71.450	73.150	74.450	79.650	75.450	73.150	447.300
3	相好体操クラブ	70.800	65.950	71.950	75.250	73.850	70.000	427.800
5	日大桜樹クラブ	67.500	66.700	67.050	72.900	66.650	67.600	408.400

男子個人総合1部

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計		
1	水島 寿思	徳洲会体操クラブ	15.300	14.550	4	15.450	16.250	14.600	15.800	91.950	
2	中瀬 卓也	徳洲会体操クラブ	15.550	13.400	15.750	16.100	15.250	15.100	91.150		
3	森 赳人	KONAMI	14.400	15.150	14.750	16.000	15.650	15.150	91.100		
4	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	14.900	5	15.000	14.700	15.550	15.850	1	14.850	90.850
13	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.050	3	14.300	14.300	15.550	14.700	14.300	88.200	
33	内田 友幸	日大桜樹クラブ	14.200	12.600	14.000	15.500	14.500	13.750	84.550		
35	山口 悠樹	相好体操クラブ	13.850	12.750	13.900	15.400	14.450	13.800	84.150		
37	森 光大	日大桜樹クラブ	14.050	13.400	13.650	14.900	13.850	13.750	83.600		
43	小田原 玄弥	横浜YSMC体操クラブ	13.450	13.000	13.850	15.150	13.600	13.850	82.900		
45	笹村 昌宏	日大桜樹クラブ	13.250	13.400	13.000	14.300	13.450	13.600	81.000		
49	佐藤 佑介	日大桜樹クラブ	13.050	14.100	12.850	14.200	13.100	13.000	80.300		
59	野村 俊介	日大桜樹クラブ	12.450	12.100	13.550	14.000	11.250	12.100	75.450		
66	渡邊 大輔	日大桜樹クラブ	12.950	13.200	12.350	0.000	11.750	13.500	63.750		
67	市角 仁	日大桜樹クラブ	11.000	7.150	9.450	12.450	11.200	11.050	62.300		

男子団体総合2部

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	鹿屋クラブ	28.350	27.975	29.075	28.150	28.800	28.625	170.975
2	鯖江ビタリクラブ	28.700	27.600	28.225	28.650	28.950	28.650	170.775
3	九州連合	27.300	26.850	28.700	27.500	29.175	28.750	168.275

男子個人総合2部

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	大竹 秀一	習友会	9.700	9.500	9.850	9.550	9.800	9.900	58.300
2	三好 浩平	兵庫フェニックス	9.725	9.350	9.825	9.600	9.700	9.550	57.750
3	廣田 哲也	TEAM ONE PURPOSE	9.675	9.350	9.625	9.575	9.700	9.700	57.625
16	川畑 龍雄	兵庫フェニックス	9.525	9.300	9.725	8.500	9.600	9.250	55.900
27	君嶋 幸之	日大桜樹クラブ	9.250	9.400	9.450	9.000	9.450	8.800	55.350
120	町田 知己	加茂体操クラブ	8.650	8.050	8.750	8.200	9.000	8.800	51.450

女子個人総合1部

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	14.700	15.050	14.900	14.750	59.400
2	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.600	14.350	15.500	14.400	58.850
3	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.750	14.200	15.300	14.400	57.650

女子団体総合2部

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	瀬戸内倶楽部	36.150	32.900	36.400	38.100	143.550
2	藤村クラブC	34.100	29.750	39.400	39.050	142.300
3	藤村クラブB	36.200	27.150	34.100	37.950	135.400

女子個人総合2部

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	五藤 佳奈	鹿屋クラブ	13.650	12.300	13.200	13.800	52.950
2	須谷 真紀	瀬戸内倶楽部	12.200	12.300	12.400	13.300	50.200
3	滑本 有美子	藤村クラブB	11.900	12.150	11.900	13.450	49.400

国民体育大会

(大分・別府市総合体育館 9月30日)

男子

順位	都道府県名	選手名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	静岡	水鳥(涼), 水鳥(一), 寺尾, 土性	43.700	40.550	42.750	44.750	44.150	44.250	260.150
2	新潟	馬場, 山崎, 長谷川, 佐野	42.500	40.800	43.450	45.450	44.300	41.700	258.200
3	千葉	萩原, 安田, 齊藤, 浅野	42.450	41.150	42.200	46.900	42.800	41.650	257.150
4	岡山	遠見, 西峯, 中島, 森井	40.350	39.250	42.750	46.750	43.050	43.900	256.050
6	鹿児島	古賀, 松本, 川野, 八石	42.700	40.350	42.000	45.700	41.250	42.350	254.350
7	大阪	山本, 鈴木, 小泉, 森	42.200	39.350	41.800	44.450	42.950	42.500	253.250
8	大分	小川, 山本, 詫摩, 佐藤	42.350	39.450	41.600	45.250	42.800	41.700	253.150
10	埼玉	前島, 岡井, 宗像, 佐藤	41.700	38.000	41.600	44.600	42.350	41.750	250.000
14	秋田	小田原, 佐藤, 高橋, 松本	40.700	37.000	41.650	44.800	40.100	40.300	244.550
15	愛媛	森野, 日野, 織田, 志賀	39.250	36.800	37.900	43.200	38.800	40.300	236.250
16	北海道	大倉, 秋島, 木藤, 三上	39.150	35.500	37.350	43.150	38.700	37.600	231.450

女子

順位	都道府県名	選手名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	長崎	椋本, 大久保, 小川, 瀬尾	40.450	38.050	41.900	40.050	160.450
2	大分	山本, 水鳥, 佐藤, 渡邊	40.050	40.300	39.700	40.300	160.350
3	神奈川	井上, 伊波, 早坂, 小泉	38.900	38.350	41.350	38.600	157.200

関東学生体操競技交流大会

(茨城・笠松運動公園体育館 10月21日)

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	2	武内 祐樹	日本大学	14.400 1	12.900 8	13.800 3	15.150 3	14.100 2	13.600 3	83.950
2	4	岩下 直史	日本体育大学	12.950	13.750	14.750	15.200	14.200	13.050	83.900
3	3	石川 輝	順天堂大学	13.950	13.250	13.400	14.900	13.950	12.500	81.950
5	2	田中 宏樹	日本大学	14.100 2	13.050 7	13.300	14.100	13.200 8	13.650 1	81.400
8	3	荒井 健之介	日本大学	13.350 8	11.550	13.700 5	14.300	13.700 5	13.650 1	80.250
9	3	松本 知典	日本大学	13.850 4	12.850	14.250 2	14.500 8	12.300	12.400	80.150

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	2	菊井 咲奈	東京女子体育大学	13.000	11.250	12.900	12.450	49.600
2	2	藪内 彩夏	日本女子体育大学	11.700	12.400	12.100	12.700	48.900
3	3	鎌田 優	日本大学	11.500	12.200 2	13.100 1	10.850	47.650
5	2	松本 理沙	日本大学	12.250 5	11.850 4	11.250 8	11.700 3	47.050
7	2	柏崎 千友紀	日本大学	11.900 6	11.850 4	10.750	11.500 4	46.000

関東学生新人体操競技選手権大会

(茨城・笠松運動公園体育館 10月22日)

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	57.250	54.250	56.050	61.850	58.300	54.150	341.850
2	日本大学	56.300	54.150	56.350	60.400	55.800	56.000	339.000
3	順天堂大学	55.600	52.800	54.250	59.650	55.950	52.950	331.200

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	1	山本 雅賢	日本体育大学	14.300	13.700	14.650	15.450	14.700	13.950	86.750
2	1	中俣 翔	日本大学	14.900 2	14.150 2	14.100 4	14.750	14.350 4	13.850 4	86.100
3	1	田中 佑典	順天堂大学	13.300	13.900	14.150	15.650	14.850	13.850	85.700
4	1	小泉 和照	日本大学	13.650	13.300 8	13.900 7	15.200	14.050 6	14.700 1	84.800
5	1	八石 翔	日本大学	14.650 5	13.100	13.400	15.050	13.600	13.850 4	83.650
8	1	鈴木 純	日本大学	12.600	13.600 7	13.650	14.550	13.800	13.600 8	81.800
21	2	一山 翔平	日本大学	12.000	11.800	14.700 1	15.400 5	13.200	12.550	79.650
26	1	坂下 翔平	日本大学	12.800	12.400	12.750	14.150	12.600	13.300	78.000
30	1	西村 恵輔	日本大学	13.100	12.650	12.350	14.350	11.050	13.100	76.600
45	1	早川 昂祐	日本大学	14.300 6	7.850	12.750	12.300	12.850	12.550	72.600

女子団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	42.200	43.400	41.200	42.600	169.400
2	筑波大学	38.250	38.900	40.250	37.950	155.350
3	国士舘大学	37.950	37.700	37.600	38.450	151.700
6	日本大学	36.700	33.300	34.050	35.400	139.450

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	1	田村 侑加	日本体育大学	13.850	14.850	14.100	14.400	57.200
2	1	竹内 世梨奈	日本体育大学	13.950	14.450	13.900	14.600	56.900
3	1	佐藤 亜莉沙	日本体育大学	14.250	14.100	12.500	13.600	54.450
20	1	石橋 玲子	日本大学	12.200	11.550	10.950	11.800	46.500
21	1	泉 葉月	日本大学	12.050	11.150	11.400	11.850	46.450
22	1	綿崎 美菜	日本大学	12.200	10.600	11.700	11.750	46.250
39	1	友野 実奈	日本大学	12.200	11.550	10.950	11.800	46.500
40	1	飯山 真衣	日本大学	12.050	11.150	11.400	11.850	46.450
22	1	綿崎 美菜	日本大学	12.200	10.600	11.700	11.750	46.250

第62回全日本体操競技選手権大会

(新潟・リージョンプラザ上越 10月31日～11月2日)

男子個人総合予選

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	内村 航平	日本体育大学	15.300	14.750	15.150	15.950	15.500	15.100	91.750
2	星 陽輔	セントラルスポーツ	15.100	15.000	14.500	15.600	15.700	15.200	91.100
3	山室 光史	日本体育大学	15.300	14.700	15.250	16.000	15.000	14.200	90.450
7	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	14.950	13.700	14.750	14.900	15.850	15.400	89.550
18	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.050	14.350	14.300	15.950	14.650	14.000	88.300
25	山本 翔一	日本大学	14.650	14.350	13.900	15.400	14.250	14.500	87.050
37	古賀 裕将	日本大学	14.550	13.350	14.300	15.550	14.000	14.250	86.000
38	小泉 和照	日本大学	14.250	13.350	13.600	15.450	14.750	14.450	85.850
44	沖中 一仁	日本大学	14.200	12.800	13.300	15.300	14.900	14.600	85.100
62	内田 友幸	日大桜樹クラブ	13.900	13.000	12.350	15.500	14.200	13.350	82.300

男子個人総合決勝

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	内村 航平	日本体育大学	15.750	14.800	15.200	16.150	15.150	14.850	91.900
2	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	15.300	14.700	14.600	15.900	15.350	15.350	91.750
3	山室 光史	日本体育大学	15.350	14.750	15.200	15.900	14.800	14.600	90.600
8	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.000	14.500	14.250	16.000	14.800	14.850	89.400
17	山本 翔一	日本大学	14.850	14.450	14.350	15.500	15.000	14.350	88.500
31	古賀 裕将	日本大学	14.650	13.500	14.500	15.500	13.800	14.050	86.000

男子種目別(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	所属	得点
ゆか	8	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.050
平行棒	1	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	15.850
鉄棒	3	田中 和仁	徳洲会体操クラブ	15.400

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	60.450	56.900	58.450	63.650	61.250	58.850	359.550
2	徳洲会体操クラブ	61.100	55.250	57.800	63.250	61.000	60.150	358.550
3	KONAMI	60.350	58.350	59.350	63.050	59.750	56.900	357.750
4	順天堂大学	59.700	57.250	57.500	63.150	60.400	58.800	356.800
5	爽秋会体操クラブ	57.750	55.100	58.550	60.900	58.600	56.100	347.000
6	仙台大学	58.050	55.700	56.050	62.650	56.650	53.200	342.300
7	相好体操クラブ	56.200	54.750	56.450	61.550	56.500	55.850	341.300
8	日本大学	57.650	52.200	56.150	60.100	57.850	56.550	340.500

女子個人総合予選

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.150	14.900	15.450	14.700	59.200
2	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	14.500	14.900	15.500	14.100	59.000
3	新竹 優子	羽衣学園高等学校	14.000	15.200	15.500	13.850	58.550

女子個人総合決勝

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.700	16.200	15.800	15.100	60.800
2	新竹 優子	羽衣学園高等学校	14.000	15.250	15.700	13.950	58.900
3	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.200	14.750	15.400	14.400	58.750

女子1部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	朝日生命体操クラブ	70.500	67.300	70.350	71.100	279.250
2	日本体育大学	68.350	66.350	69.900	68.400	273.000
3	戸田市スポーツセンター	68.550	65.250	65.900	68.300	268.000
4	レジックススポーツ	71.300	59.350	64.800	63.950	259.400
5	京都ジャンピング体操クラブ	68.300	63.800	62.650	62.050	256.800
6	四天王寺スポーツクラブ	64.800	62.900	63.150	62.800	253.650
7	筑波大学	65.300	57.900	58.250	60.550	242.000
8	国士舘大学	64.050	57.950	58.500	58.900	239.400

DTBポカール (ドイツ・シュツットガル 11月14日～11月15日)

男子種目別決勝(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	得点
平行棒	8	田中 和仁	14.700
鉄 棒	5	田中 和仁	15.400

アジアシニア体操競技選手権大会 (カタール・ドーハ 11月15日～11月18日)

男子団体総合決勝

順位	国 名	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬	平行棒	鉄 棒	合 計
1	日 本	60.200	59.150	60.900	63.800	60.150	61.000	365.200
2	KOR	58.450	57.550	57.400	60.300	59.000	56.100	348.800
3	PRK	57.750	51.800	59.700	61.950	55.800	54.050	341.050

個人成績(日大・桜樹関係者のみ)

順位	選手名	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬	平行棒	鉄 棒	合 計
	山本 翔一	14.800	13.150		15.400	14.800	15.200	73.350

パシフィックコースト・クラシック (アメリカ・カリフォルニア 2月21日)

男子団体総合決勝

順位	チーム名	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬	平行棒	鉄 棒	合 計
1	日 本	60.100	56.750	59.700	64.200	59.700	59.000	359.450
2	Stanford Univ	60.800	58.650	60.850	62.800	58.600	55.200	356.900
3	UC Berkeley	59.900	57.650	60.400	62.050	56.650	58.700	355.350

個人成績(日大・桜樹関係者のみ)

順位	選手名	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬	平行棒	鉄 棒	合 計
4	古賀 裕将	14.650	14.000	15.400	16.000	14.250	14.300	88.600
	山本 翔一	14.250	13.100		15.650	15.300	13.550	71.850
	小泉 和照		14.500	14.250	14.750		15.000	58.500

日本学生選抜・スタンフォード大学対抗戦 (アメリカ・カリフォルニア 2月27日)

団体対抗

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本	59.950	55.800	61.000	63.750	60.700	59.800	361.000
2	Stanford Univ	61.350	59.000	60.600	60.950	58.800	58.100	358.800

個人成績(日大・桜樹関係者のみ)

順位	選手名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	古賀 裕将	15.300	14.150	15.200	15.750	13.600	15.300	89.300
	山本 翔一	14.450	11.350		15.650	15.450	15.100	72.000
	小泉 和照		14.150	15.350			14.600	44.100

コト布斯国際 (ドイツ・コト布斯 3月21日～3月22日)

男子種目別決勝(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	得点
平行棒	3	田中 和仁	15.275
鉄棒	7	田中 和仁	13.550



平成 20 年度 日本大学桜樹会 第 1 回役員会議事

平成 21 年 3 月 21 日 (土) 13:00~14:45

日本大学会館 601A

出席 吉川晃、小俣里知子、菊地君男、木村多喜、早田卓次、小栗郁郎、岡本公子、
谷田部光則、遠藤幸一、葛西玲広

会計監査作業 13:00~14:00

I 報告事項

- ・ 総会 本日 15:00~ 日本大学会館 601A
- ・ 懇親会 同日 総会終了後審議事項

II

<総会議事について>

I 挨拶…菊地会長

II 議長・書記選出…役員会案 議長；小栗 書記；岡本

III 報告事項

大学を卒業したかどうかは問わず、現在は入学年を基準に期を認定。

IV 審議事項

平成 20 年度収支決算報告

平成 21 年度事業および行事計画

平成年度予算案

平成21・22年度選出役員（会長 1、副会長 2~3、総務 1~2、会計監査 2）

役員案 留任

■会費徴収方法について

<提案>

- ・ 郵便振替用紙による（従来通り。ただし、現在の加入者負担用紙がなくなり次第、振替手数料は振込者負担へ…(3 万円未満の振替)ATM 利用 80 円・窓口利用 120 円)

（手数料分の支出削減・振替用紙印刷費の支出削減）

- ・ (追加) 郵便局口座への入金…振込手数料は振込者負担

なお、会費の徴収方法に関しては、総会で意見交換する。

■会郵便物受け取り拒否会員について

退会や除名扱いとせず、郵便物を送らない処置とする。

平成20年度 日本大学桜樹会総会議事

期日) 平成21年3月21日(土) 15:00~16:20

場所) 日本大学会館601A

出席) 石井征也、吉川晃、小俣里知子、菊地君男、木村多喜、小栗郁郎、山中勝男、岡本公子、久保光正、谷田部光則、梶山広司、遠藤幸一、長澤郁子、西川大輔、葛西玲広、内田友幸、渡邊大輔

以上17名

<返信247通(現住所不明6通);通知700通(現在返信率35.6%)>

I 挨拶…会長 菊地君男

II 議長・書記選出…議長;小栗郁郎 書記;岡本公子

III 報告事項

1. 事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係;事務局(資料1,2参照)

※競技会成績、懇親会報告等の詳細については会報第43号に記載予定。

2. 会員動向…事務局

—会員逝去について

濱田靖一—顧問(平成20年9月12日逝去)

小柴守夫—8期(平成20年8月13日逝去)

—新入会員について

平成21年3月卒:男子9名、女子5名

3. その他

IV 審議事項

1. 平成20年度収支決算報告…事務局(資料3参照)

2. 会計監査報告…岡本公子「会計処理を確認した結果問題なし」

3. 平成20年度収支決算の認否…承認

4. 平成21年度事業および行事計画…事務局(資料4参照)

5. 平成21年度事業および行事計画の認否…承認

6. 平成21年度予算案…事務局(資料5参照)

7. 平成21年度予算案の認否…承認

8. 平成21・22年度選出役員…下記、承認

会長:菊地君男 副会長:高田信興、小俣里知子、鶴見興人

総務:遠藤幸一、葛西玲広 会計監査:岡本公子、原 弘吉

9. 会費徴収方法について

<提案事項>

本会は会員の会費収入を主要財源として運営しているが、2008年度は会費総額だけでなく、件数も106名分に低迷した。会員からは郵便振替だけでなく、他の入金方法の検討について要望もあり、下記、会費の支払い方法と振込手数料の考え方を変更したい。

- ・郵便振替用紙による（従来通り。ただし、現在の加入者負担用紙がなくなり次第、振替手数料は振込者負担へ…(3万円未満の振替)ATM利用80円・窓口利用120円)
(手数料分の支出削減・振替用紙印刷費の支出削減)
- ・(追加) 郵便局口座への入金…振込手数料は振込者負担

<各銀行口座から>…手数料は各銀行により異なる

ゆうちょ銀行(JP BANK)

店名〇〇八(ゼロゼロハチ) 店番008

普通預金 4332339 日本大学桜樹会

<ゆうちょ銀行総合口座から>…手数料は無料(2009年9月30日まで)

記号10070・番号43323391

日本大学桜樹会

- ・振替用紙はそれほど残りが少ないので、枚数が少なければ増刷せず、会費の低い会員について手数料を負担してもらう。
- ・未払いの会費額が気になって支払いたくても支払いしにくくなる状況にある。会費に関しては年度扱い(年度締め)の考えも導入する必要があるのではないか。
- ・会報に、未払い会員あてに会費支払いについてコメントしたが、しっかり払っている会員に対して不快な思いをさせたのかもしれない。
- ・会費を納めた会員の会費収入だけでも最低限の会運営ができていて、それでよしとしていたが、年代も広がり不公平感が出てもおかしくない。定年退職者も出ていることから会費額を一律化するなど、新たな考えに立つ時期にきている。
- ・支払える場所がコンビニなど多岐にわたる方がいいが、導入に際して、どれくらいの手間とコストがかかるか検討する必要がある。
- ・ペナルティを与えるなど義務化しない以上、会費納入を大幅に増やすことは無理。強制しないことを前提に考えるのであれば、桜樹会への帰属意識、体操部への思い入れを強くさせる広報・啓発活動が必要。
- ・支出の見直しの一つとして、会報発行の意味を考えたい。最近では投稿者も少なく、年に1度の情報提供では会の帰属意識を高めることはできない。たとえば、ホームページの開設などにより、新鮮な情報を提供する環境づくりが可能であれば、印刷や発送などの支出を抑えることができる。

- ・ホームページの運営には、情報が必要。立ち上げ時はいいが、古い情報のままだと一時的なもので、効果を期待することはできない。業者に委託するなど考えても、新鮮な情報を収集し整理する担当者が必要である。また、そもそも桜樹会にどれだけの情報があるのか考える必要がある。
 - ・体操部のホームページに桜樹会の情報を掲載したこともある。
 - ・会費納入のお願いは、会報の中に掲載するのではなく、1枚のぺらで強調してはどうか。
 - ・解決策については次年度役員に委ね、会員の意見や要望を聞きながら改革する必要がある。
- <総会終了後、会員懇親会開催>場所 「土風炉 市ヶ谷店」17時～

資料1

平成20年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	12～13	五輪2次予選	代々木第一体育館
5	5～6 19～20	五輪最終予選・NHK杯 東日本インカレ	岡山 栃木県体育館
6	30	会報42号発行・発送	
8	6～8 9～19 12～17 31～9/2	インターハイ 第29回オリンピック 全日本ジュニア 全日本インカレ	埼玉・くまがやドーム 中国・北京 横浜文化体育館 埼玉・くまがやドーム
9	13～15 29～10/1	全日本社会人大会 国体	鯖江市総合体育館 別府市総合体育館
10	21～22 24 31～11/2	関東新人戦・交流戦 濱田靖一先生を偲ぶ会 全日本選手権	笠松運動公園総合体育館 ハイアットリージェンシー東京 リージョンプラザ上越
1	17	新年会（有志）	新宿；栄寿司二号店
3	21 21 29	第1回役員会（会計監査作業） 平成20年度総会・懇親会 高校選抜	日大会館 日大会館・土風炉 岡山・桃太郎アリーナ

資料2

平成20年度 日本大学体操部・桜樹クラブ競技会報告

1) オリンピック 2次予選 (代々木一)

田中和仁 (49期) 3位⇒最終選考へ

小泉和照 (1年) 30位、古賀裕将 (3年) 32位⇒以上、予選落ち

2) NHK杯 (岡山)

田中和仁 (49期) 6位

3) 東日本インカレ (栃木県体育館)

男子団体4位、女子団体8位

4) 全日本インカレ (埼玉・くまがやドーム)

男子団体4位、女子団体2部2位

5) 全日本社会人 (鯖江)

男子団体1部5位

内田友幸 (48期) 33位、森光大 (46期) 37位、笹村昌宏 (46期) 45位、佐藤佑介 (44期) 49位、野村俊介 (44期) 59位、渡邊大輔 (49期) 66位、市角仁 (48期) 67位

6) 関東新人・交流 (笠松運動公園)

新人男子：団体2位、個人2位＝中俣翔 (1年)

優勝：一山翔平 (2年) つり輪、小泉和照 (1年) 鉄棒

女子：団体6位

交流男子：個人2位＝武内祐樹 (2年)、ゆか1位

優勝：武内祐樹 (2年) ゆか、荒井健之介 (3年) 鉄棒、田中宏樹 (2年) 鉄棒、鎌田優 (3年) 平均台

7) 全日本選手権 (上越)

男子学生：団体8位

男子個人総合：田中和仁 (49期) 2位

桜樹ク：内田友幸 (48期) 予選62位

学生：山本翔一 (3年) 17位、古賀裕将 (3年) 31位

※詳細は会報43号に掲載

国際大会代表

田中和仁 (DTBカップ：平行棒8位、鉄棒5位)

山本翔一 (アジアシニア選手権：団体1位)

古賀裕将、小泉和照 (PCC：団体1位)

体操部関連行事

<http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~kajiyama/>

資料3

2008年度日本大学桜樹会収支決算書

2008年4月1日～2009年3月31日

(収支決算書)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,690,000	2,758,586	68,586
支出総額	2,690,000	1,527,079	1,162,921
差引(次年度繰越金)		1,231,507	

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,482,265	1,482,265	0	
会 費	1,200,000	743,000	▲457,000	106名分
寄 付	0	0	0	
雑収入	7,735	533,321	525,586	50周年記念行事残金他
合 計	2,690,000	2,758,586	68,586	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	550,000	732,375	▲182,375	会報第42号発行312,375、 競技会参加補助400,000
補助費	340,000	340,000	0	体操部補助300,000、桜門 会登録補助40,000
会議費	40,000	1,725	38,275	コピー・飲物代(役員会)
通信費	200,000	149,224	50,776	会報発送53,072
事務費	30,000	200	29,800	印刷用具購入他
雑 費	35,000	11,805	23,195	口座手数料他
予備費	1,495,000	291,750	1,203,250	生花代(宇野、小柴)、田 中理事長就任祝参加補助2 55,000
合 計	2,690,000	1,527,079	1,162,921	

会計監査 岡本公子 (平成21年3月21日)

資料4

平成21年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	25～26 27	全日本個人選手権・ユニバー決定ほか 桜樹会ゴルフコンペ (有志)	代々木第一体育館 船橋カントリー倶楽部
5	16～17	東日本インカレ	栃木県立体育館
6	6～7	世界選手権最終予選・NHK杯 第1回役員会	代々木第一体育館 未定
7	1～12 下旬 31～8/2	ユニバーシアード 会報43号・名簿発行・発送 インターハイ	セルビアモンテネグロ 和歌山ビッグホエール
8	12～17 20～22	全日本ジュニア 全日本インカレ	横浜文化体育館 ぐんまアリーナ
9	19～21 22～23 未定 29～10/1	全日本社会人大会 国際ジュニア 第2回役員会 国体	鯖江市総合体育館 横浜文化体育館 未定 リージョンプラザ上越
10	12～18	世界選手権	ロンドン
11	6～7 20～22	関東学生新人・交流 全日本団体・種目別選手権	笠松運動公園総合体育館 代々木第一体育館
1	16	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
3	未定 未定 30	第3回役員会 (会計監査作業) 平成21年度総会・懇親会 高校選抜	未定 未定 北海道立総合体育センター

資料5

2009年度日本大学桜樹会予算案

2009年4月1日～2010年3月31日

(収支予算書)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額
収入総額	2,235,000	2,690,000	▲ 455,000
支出総額	2,235,000	2,690,000	▲ 455,000
差引(次年度繰越金)	0	0	

(収入明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
前年度繰越金	1,231,507	1,482,265	▲ 250,758	
会 費	1,000,000	1,200,000	▲ 200,000	
寄 付	0	0	0	
雑収入	3,493	7,735	▲ 4,242	
合 計	2,235,000	2,690,000	▲ 455,000	

(支出明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
事業費	700,000	550,000	150,000	会報第43号発行150,000、 会員名簿150,000、競技会 参加補助400,000
補助費	340,000	340,000	0	体操部補助300,000、桜門 会登録補助40,000
会議費	40,000	40,000	0	会議室使用料
通信費	200,000	200,000	0	会報他郵送料
事務費	30,000	30,000	0	原稿用紙、印刷用具購入 他
雑 費	35,000	35,000	0	口座手数料
予備費	890,000	1,495,000	▲ 605,000	
合 計	2,235,000	2,690,000	▲ 455,000	

資料6

会費納入状況 (変遷)

年度	会費納入件数	会費	郵送数	
1986	154	631,000		
1987	191	817,000		
1988	185	846,000		
1989	198	1,029,000		
1990	211	895,000		
1991	219	1,005,000		
1992	265	1,118,000		
1993	226	968,000	589	38.4%
1994	259	1,380,000	573	45.2%
1995	257	1,260,000	606	42.4%
1996	218	1,096,000	620	35.2%
1997	314	1,824,000	646	48.6%
1998	167	953,000	639	26.1%
1999	254	1,385,000	679	37.4%
2000	171	1,174,000	678	25.2%
2001	198	1,330,495	681	29.1%
2002	179	1,205,000	683	26.2%
2003	213	1,522,000	690	30.9%
2004	156	1,052,000	689	22.6%
2005	141	921,000	693	20.3%
2006	185	1,377,000	678	27.3%
2007	229	1,894,000	672	34.1%
2008	106	743,000	689	15.4%
2009				

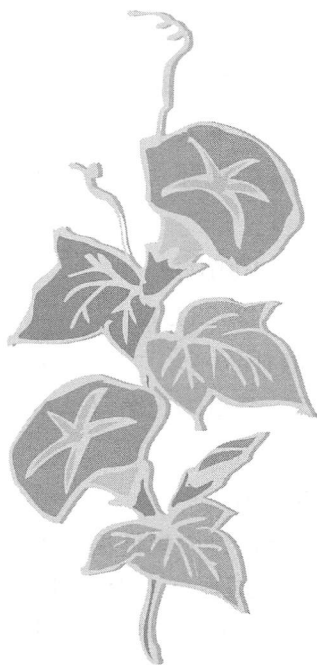


平成 20 年度 会費納入状況報告

会費納入者 ; 106 名 総額 ; 743,000 円

No.	月	日	氏 名	金 額	No.	月	日	氏 名	金 額
1	4	1	外山 宜男	6,000	36	8	6	竹中 剛	4,000
2	4	1	大坂 知恵	10,000	37	8	6	大塚 政子	4,000
3	4	1	田中 和仁	2,000	38	8	7	田島 清貴	30,000
4	4	1	松本 憲秀	2,000	39	8	7	慶田盛 定	12,000
5	4	1	渡邊 大輔	2,000	40	8	7	水島 克己	6,000
6	4	1	木島 宏史	2,000	41	8	11	濱崎 誠	8,000
7	4	1	千葉 厚太	2,000	42	8	11	堺 保則	6,000
8	4	1	関 圭一朗	2,000	43	8	11	小貫 孝春	6,000
9	4	1	堂河内 佑	2,000	44	8	12	鈴木 康夫	10,000
10	4	1	増子 靖和	2,000	45	8	12	小田原玄弥	4,000
11	4	1	立石 絵里	2,000	46	8	14	岡本 公子	6,000
12	4	1	廣田 望	2,000	47	8	14	大村 元勝	20,000
13	4	1	佐橋 春枝	2,000	48	8	15	伊藤 勇	6,000
14	5	8	岩澤 稔	6,000	49	8	18	真島 孝礼	6,000
15	8	1	安藤 泰行	6,000	50	8	18	平田 芳和	6,000
16	8	4	田野 哲	6,000	51	8	19	加藤 嘉明	30,000
17	8	4	浅田 泰男	6,000	52	8	20	上野 剛	6,000
18	8	4	近藤 明	6,000	53	8	20	加藤 真理	12,000
19	8	4	高波 司雄	6,000	54	8	20	千代 恭司	6,000
20	8	4	大塚 文夫	6,000	55	8	20	定政 香織	8,000
21	8	4	工藤 昌二	6,000	56	8	21	木下 咲夫	6,000
22	8	4	山本 好隆	6,000	57	8	22	宇野 貞子	6,000
23	8	4	菅野 秀俊	6,000	58	8	25	松山 禎一	6,000
24	8	4	藤沢 秀男	6,000	59	8	27	栗原 博人	6,000
25	8	4	久保田一行	6,000	60	8	27	大塚 孝幸	4,000
26	8	4	三川 敦司	4,000	61	8	28	金子 正史	12,000
27	8	4	佐藤 寿治	4,000	62	8	28	伊谷 正一	18,000
28	8	4	柳沢 聖子	4,000	63	8	28	大江 晴久	4,000
29	8	5	朝倉 徳雄	6,000	64	8	29	中川 和昭	12,000
30	8	5	岡本 祥子	6,000	65	8	29	大野 裕二	6,000
31	8	5	中谷 秀明	6,000	66	9	1	斎藤 敬一	6,000
32	8	5	川畑 龍雄	6,000	67	9	2	太田 崇	2,000
33	8	5	森 光大	2,000	68	9	8	水島 宏一	6,000
34	8	6	松下 悦子	6,000	69	9	8	山口 悠樹	2,000
35	8	6	矢木 幹男	6,000	70	9	10	海谷美代子	6,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
71	9	10	門脇 隆	6,000	89	10	24	新井 麻衣	2,000
72	9	11	春山 文子	6,000	90	10	27	中山 孝之	4,000
73	9	11	山田 秀二	6,000	91	10	29	伊藤 昇	2,000
74	9	17	松本 俊一	6,000	92	10	31	松永 政行	20,000
75	9	18	斉藤 寛	8,000	93	11	7	藤田 力雄	12,000
76	9	22	寺元 良人	6,000	94	11	17	舟山 忠広	6,000
77	9	25	後藤 靖治	26,000	95	12	1	田中 和仁	2,000
78	9	29	高井 一成	8,000	96	12	18	錦井 利臣	6,000
79	9	30	望月 敏正	6,000	97	12	25	田中 章二	6,000
80	10	1	村上 吉正	6,000	98	1	17	菊地 君男	12,000
81	10	3	岩井 高志	12,000	99	1	17	上野 剛	6,000
82	10	6	志村 久子	6,000	100	1	26	渡部 宣裕	15,000
83	10	6	竹村 里香	12,000	101	1	26	飯嶋 顕	2,000
84	10	8	佐藤 勲	6,000	102	2	2	君嶋 孝之	4,000
85	10	9	小笠原光子	6,000	103	2	24	松田 洋	6,000
86	10	20	平川 文雄	6,000	104	3	2	山内 悟	6,000
87	10	20	桜井 一男	6,000	105	3	9	今村 悟	6,000
88	10	21	前野 睦美	24,000	106	3	10	高橋 房雄	6,000



会費納入のお願いと住所シールの見方

日本大学桜樹会の収入のほとんどが会費によるものです。ご多忙とは存じますが、お手すきの時にご入金いただきますようご依頼申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

→個人コード番号(体操部 34 回卒)

2008:08/12/13

→2008 年度分までが、2008 年 12 月 13 日付で入金されています。

平成 21 年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後 20 年以上の場合は 6,000 円、同 10 年以上 20 年未満の場合は 4,000 円、同 10 年未満の場合は 2,000 円となっています。よって平成 21 年度分の会費は次のようになります。

1～30 回卒 ; 6,000 円

31～40 回卒 ; 4,000 円

41～50 回卒 ; 2,000 円

【振込みについて】

年会費等入金を ATM からも受け付けることになりました。恐れ入りますが、下記口座に年会費を早めにお納めいただきますようお願い申し上げます。

●ゆうちょ銀行

店 名 : 〇〇八 (ゼロゼロハチ)

店 番 : 008

普通預金 : 4332339

口座名義 : 日本大学桜樹会

※銀行からの場合、手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

●郵便局

記 号 : 10070

番 号 : 43323391

※郵便局口座からですと、手数料は無料です (7 月現在)。

振込者名は、会員の氏名 (フルネーム) にてお願いします。

<郵便振替用紙利用>

郵便局備え付けの郵便振替用紙による入金も受け付けます。

・郵便振替口座 : 00140-5-111495

・加入者名 : 日本大学桜樹会

平成21年度 桜樹会役員一覧

<会 長> 4; 菊地 君男

<副 会 長> 4; 小俣里知子 4; 高田 信興 6; 鶴見 興人

<会計監査> 7; 岡本 公子 11; 原 弘吉

<総 務> 25; 遠藤 幸一 43; 葛西 玲広

以上 平成 20 年度総会にて決定

<幹 事> 17名

2; 吉川 晃 4; 木村 多喜・早田 卓次

5; 小栗 郁郎 7; 海谷美代子 10; 安藤 泰行

14; 外山 宜男 15; 谷田部光則 17; 梶山 広司

21; 平田 倫敏 29; 水島 宏一 31; 長澤 郁子 34; 西川 大輔

44; 佐藤 佑介・日向小百合 48; 内田 友幸 49; 渡邊 大輔

<ブロック幹事> 16名

北 海 道 … 8; 山内 悟 37; 吉田 義経

東 北 … 7; 佐藤 勲 18; 佐藤 之俊

北 信 越 … 8; 船木 政明 14; 五十嵐久人 33; 三富 洋昭

東 海 … 15; 後藤 史朗

近 畿 … 26; 川畑 龍雄 40; 岸本 拓也

中 国 … 13; 中谷 秀明 25; 小野田博之

四 国 … 33; 橋本 博之

九州・沖縄 … 5; 磯部 忠通 16; 錦井 利臣 19; 松本 俊一

平成 21 年度 体操部役員および部員

体操部役員

部長；高松 雄行 副部長；前野 正夫
 監督；梶山 廣司 コーチ；長澤 郁子、西川 大輔

体操部員 49 名(男子 36 名、女子 13 名)

4 年；
 古賀裕将／れいめい高
 山本翔一／県立大分西高
 荒井健之介／清風高
 三宅正晃／関西高
 松本知憲／県立能代高
 川田貴之／作新学院高
 後藤俊介／庄内総合高
 野崎健太郎／横浜商大高
 杉山竹史／東海大附属第二高
 鎌田優／聖徳大学附属高

3 年；
 武内祐樹／清風高
 伊藤翔／湘南工大附属高
 森祐樹／松山北高
 一山翔平／市立尼崎高
 田中宏樹／太成学院高
 川村洋貴／旭川大学高

菅井尚英／庄内総合高
 坂下敏博／れいめい高
 小高匡史／日大藤沢高
 森本真帆／京都西山高
 松本理沙／県立綾瀬高
 柏崎千友紀／県立綾瀬高

2 年；
 小泉和照／清風高
 八石翔／れいめい高
 早川昂佑／洛南高
 中俣翔／京北高
 坂下翔平／智頭農林高
 鈴木純／清風高
 西村恵輔／姫路商業高
 山田慧／新潟青陵高
 塚本一真／修徳高
 飯山真衣／品川女子学院高
 友野実奈／聖徳大付属高

錦崎美菜／鳥栖高
 石橋玲子／市立習志野高
 泉葉月／夙川学院高
 青木泉澄／船橋二和

1 年；
 川崎大輔／洛南高
 田中哲史／大宮東高
 尾崎要介／清風高
 小川築希／崇徳高
 柴田翔仁／田辺工業高
 竹之内拳／庄内総合高
 渡邊駿介／高松北高
 大西紘彰／新田高
 寺前賢治／田辺工業高
 渡辺真梨恵／夙川学院高
 小川由貴／聖望学園高
 吉田愛理／青森山田高

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	14:30～	13:00～
女子	16:20～	12:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第 2 体育館 3 階体操場

電話 03-5317-9719 (直通)

平成 21 年度体操部役員についてのご報告

桜樹会会長 菊地君男

この度、平成 12 年から部長を務めてこられた早田卓次文理学部教授が勇退されました。それに伴い、平成 21 年度体操部役員は以下の通りとなりますのでご報告いたします。

部 長	高松 雄行	日本大学常務理事
副部長	前野 正夫	日本大学歯学部教授
監 督	梶山 廣司	日本大学生物資源科学部教授
コーチ	西川 大輔	日本大学芸術学部准教授
コーチ	長澤 郁子	日本大学鶴ヶ丘高校非常勤講師

早田卓次前部長には、長年にわたるご労苦を心から感謝いたします。

桜樹会会員の皆様には、今後とも体操部の活動に対するご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

体操部ホームページのお知らせ

2003 年 10 月から、「日本大学体操部ホームページ」を開設しています。

URL、サイトマップは以下の通りです。

検索サイトで「日本大学体操部」の入力でほぼ検索できます。

桜樹会会員の皆様、ぜひアクセスしてください。

◆URL <http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~kajiyama/>

◆サイトマップ

- ・ 日本大学体操部フレーム表示用
 - ・ 練習と生活
 - ・ 部員
 - ・ 部行事
 - ・ 競技会・成績
 - ・ 歴代日本代表
 - ・ OB会情報

体操部生活内容と環境

男子総務 野崎 健太郎

現在、体操部は男子 36 名、女子 13 名の計 49 名で活動しています。体操部はほぼ全員が寮生活をしています。男子は八幡山総合学生寮で、女子は芦花公園にあるマンションを 3 部屋借りており、そこを寮として生活しています。八幡山の学生寮は朝食、夕食がバイキング形式でとれます。練習から帰ってくるとすぐに食事をとれるので、とても助かります。お風呂は地下の大浴場を利用します。体操部は 11 部屋利用していて、そのうちの 1 部屋は大部屋になっています。そこは 1 年生全員が共同で利用しています。他の 10 部屋は 2～3 人で利用します。基本的に、同学年同士の部屋なので和気藹々とした雰囲気です。

女子は、1 部屋 4 名程度で利用しています。3 部屋のうち、1 つの部屋が食事を作る部屋とし、食事当番の学生が全員分の食事を作ります。食事当番は全学年交代で行い、同じようなメニューが重ならないよう、栄養バランスも考えながら工夫して料理をしています。

練習は週に 5～6 日、平日は 16:20～19:30 まで、土曜日は 14:30～18:30 まで、休日は 13:00～17:00 といった時間帯で活動しています。授業がある日は 12:30 から、昼のトレーニングがあります。各自が強化すべきポイントを定め、筋力トレーニングなどをおこないます。女子も同じ時間に昼のトレーニングをしています。女子は筋力トレーニングではなく、音楽を流しながらダンスレッスンをしています。

練習時間は決して長くないので、集中して取り組む必要があります。部員を 6 名程度に分け 4 つの班を編成し、各種目を 35 分～40 分でローテーションします。

体操競技は 2006 年に大きなルール改正がありました。それは 10 点満点の廃止と、減点の幅が大きくなったことです。10 点満点が廃止になったことにより、演技には高難度の技を多く組み込むことが要求されるようになりました。しかも、減点の幅が大きくなったので、ミスをしたということも重要です。“より難しい技を多く組み込んだ演技を、失敗しないようにする”ことが求められるのです。ですから、練習には多大な時間と労力を必要とします。

まずは、自分の出来る演技を繋げていき、ベースとなる演技を作ります。そしてそのベースとなる演技の中に、高難度の技を組み込んでいこうと考えます。まずは決めた技を習得することから始めます。技に関しては、選手が有利になるようなものを、監督やコーチが指導してくれます。1 つの技を習得するためには、時間をかけて何度も反復練習をし、失敗を繰り返しながら自分のものにします。次に習得した技を自分のベースとなる演技に組み込む練習をします。“通し”と呼ばれる練習で、さまざまな技を組み込んだ演技を、最初から最後まで失敗しないように続行します。この練習にたくさん時間と数をかけ、試合でも同じ演技が出来るようにします。

試合では、部員全員が一丸となって戦います。出場している選手だけではなく、応援する人や、選手のサポートをする人も、一緒に戦うという意識を持っています。

昨年度は、男女とも悔しい試合結果となりました。今年度はその悔しい思いを活かし、最高の結果を出せるようにと盛り上がっています。女子は 1 部昇格、男子は全日本インカレ優勝を目標とし精一杯頑張っていますので、ご指導ご支援のほどお願いします。

2009年度 体操競技(各種競技会予定)

2009		大会名	場所		
月	日	月	日		
4	11	～	4 12	第51回関西学生体操選手権大会(体操競技)	兵庫県立総合体育館
4	18	～	4 19	第25回東日本学生体操競技グループ選手権大会	笠松運動公園総合体育館
4	25	～	4 26	第63回全日本体操競技選手権大会兼第41回世界体操競技選手権大会第2次選考会兼第25回ユニバーシアード競技大会日本代表決定競技会	代々木第一体育館
4	25	～	4 26	第56回東海北陸学生体操選手権大会	パークアリーナ小牧
5	8	～	5 10	第57回九州学生体操競技選手権大会	熊本県立総合体育館
5	16	～	5 17	第43回東日本学生体操競技選手権大会	栃木県立体育館
5	22	～	5 24	第59回西日本学生体操選手権大会(体操競技)	北九州市立総合体育館
6	5	～	6 7	高体連:関東大会	笠松運動公園茨城県
6	6	～	6 7	第48回NHK杯兼第41回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会	代々木第一体育館
6	17	～	6 19	高体連:北海道大会	小樽総合体育館
6	19	～	6 21	高体連:東北大会	宮城県グランディ21
6	19	～	6 21	高体連:中国大会	山口県スポーツ文化センター
6	19	～	6 21	高体連:四国大会	高知県立青少年センター
6	20			高体連:東海大会	三重県営サンアリーナ
6	20	～	6 21	高体連:近畿大会	滋賀県立体育館
6	20	～	6 21	高体連:北信越大会	金沢市総合体育館
6	26	～	6 28	高体連:九州大会	北九州市立総合体育館
7	2	～	7 5	第25回ユニバーシアード競技大会(体操競技)	セルビアモンテネグロ・ベオグラード
7	18	～	7 19	体操JAPAN CUP 2009	幕張メッセ
7	20	～	7 24	2009西日本ジュニア体操競技選手権大会	佐賀・佐賀県総合体育館
7	25	～	7 29	2009東日本ジュニア体操競技選手権大会	埼玉・くまがやドーム
7	31	～	8 2	全国高校総体(体操競技)	和歌山ビッグホエール
8	1	～	8 2	中体連:四国大会	愛媛県総合運動公園体育館
8	5	～	8 6	中体連:北信越大会	鳥屋野総合体育館
8	5	～	8 7	中体連:九州大会	沖縄県沢川運動公園体育館
8	7	～	8 8	中体連:近畿大会	西宮市立中央体育館
8	7	～	8 9	中体連:北海道大会	野幌総合運動公園体育館
8	7	～	8 9	中体連:東北大会	福島県営あづま総合体育館
8	7	～	8 10	中体連:中国大会	米子産業体育館
8	8	～	8 10	中体連:関東大会	町田市立総合体育館
8	8	～	8 9	中体連:東海大会	岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム
8	12	～	8 17	2009全日本ジュニア体操競技選手権大会	神奈川・横浜文化体育館
8	20	～	8 22	第63回全日本学生体操競技選手権大会	群馬県・ぐんまアリーナ
8	21	～	8 23	第40回全国中学校体育大会(体操競技)	熊本県立総合体育館
9	19	～	9 21	全日本社会人選手権大会(体操競技男女)	鯖江市総合体育館
9	22	～	9 23	2009国際ジュニア体操競技大会	神奈川・横浜文化体育館
9	29	～	10 2	第64回国民体育大会(体操競技)	新潟・リージョンプラザ上越
10	12	～	10 18	第41回世界体操競技選手権大会	イギリス・ロンドン
10	下旬			第41回関西学生体操新人選手権大会	未定
10	下旬			平成21年度関西学生体操交流大会(体操競技)	未定
10				平成21年度関西学生体操新人大会	未定
11	6	～	11 7	平成21年度関東学生新人体操競技選手権大会	笠松運動公園総合体育館
11	6	～	11 7	平成21年度関東学生体操競技交流大会	笠松運動公園総合体育館
11	16	～	11 17	第52回九州学生体操競技新人大会	佐賀県立総合体育館
11	20	～	11 22	第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会	代々木第一体育館
11	28	～	11 29	第4回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会	千葉ポートアリーナ(予定)
11				第42回東北・北海道学生新人体操競技選手権大会	未定
12	12	～	12 13	豊田国際体操競技大会	愛知・豊田市総合体育館
2010					
3	13	～	3 16	アジアジュニア体操競技選手権大会	幕張メッセ
3	26	～	3 28	第10回全国体操小学生大会	茨城・大洗町
3	30			第26回全国高校体操競技選抜大会	北海道立総合体育センター(きたえる)

※事業計画は変更の可能性があります。ご注意ください。

※日程は原則として開会式、会議、練習など、競技以外の日程を除いています。

会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている各位の体験談（よかったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど）をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと思っています。なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、その際は桜樹会のためにも少しの時間をさいて寄稿していただきますようお願い申し上げます（投稿締切；毎年3月末日）。

投稿先；〒333-0853 埼玉県川口市芝園町3-4-237 葛西玲広

電子メールアドレス kasai.reo@nihon-u.ac.jp

日本大学桜樹会会報 第43号

発行日 平成21年7月31日

発行者 日本大学桜樹会
